

歯と口に関するアンケート
静岡市民向け調査報告書

令和7（2025）年12月
静岡市健康づくり推進課
口腔保健支援センター

目次

1.調査の概要	3	Q21. 歯科に関する情報の入手先	33
・目的	4	Q22-1.喫煙の状況	34
・調査設計	4	Q22-2.喫煙の状況【男女年代別】	35
・調査対象の抽出方法	5	Q23.喫煙の歯周病への影響	36
・調査の結果	6	Q24.歯周病と全身の病気との関係	37
・集計処理	6	Q25.静岡県歯周病検診の認知度	38
2.回答者属性	7	Q26.8020運動の認知度	39
Q1.回答者	8	Q27.オーラルフレイルの認知度	40
Q2-1.年代	8	Q28-1.かんで食べる時の状況	41
Q2-2.18歳以下属性	8	Q28-2.かんで食べる時の状況【男女年代別】	42
Q3.性別	8	Q29-1.家族や友人との食事	43
Q4.居住区	8	Q29-2.家族や友人との食事【男女年代別】	44
3.年代別集計	9	Q30-1.飲酒の状況	45
Q3.性別	10	Q30-2.飲酒の状況【男女年代別】	46
Q4.居住区	11	Q31.飲酒量	47
Q5.身長と体重から算出した男女別BMI	12	Q32.1日30分以上の運動の状況	48
Q6-1.歯の本数	13	Q33.むせ予防等のお口の体操の認知度	49
Q6-2.歯の本数【男女年代別】	14	Q34.障がいのある方の歯科医療機関の受診の推進	50
Q7-1.過去1年間の歯科受診の有無	15	Q35.訪問歯科診療の認知度	51
Q7-2.過去1年間の歯科受診の有無【男女年代別】	16	Q36.がんについて知っていること	52
Q8.過去1年間に歯科医院へ行った理由・目的	17	Q37.口腔ケアによる入院日数短縮の認知度	53
Q9.かかりつけ歯科医の有無	18	Q38.歯みがきの方法	54
Q10.かかりつけ歯科医がない理由	19	Q39.保護者による仕上げみがきの頻度	55
Q11-1.歯科健診の受診	20	Q40.園や学校で実施する歯科健診	56
Q11-2.歯科健診の受診【男女年代別】	21	Q41.園や学校での歯みがき	57
Q12.歯科健診に行く条件	22	Q42.市が行っている歯や口の健康づくりに対するご意見（自由記載）	58
Q13-1.歯みがきの回数	23	【市の情報発信】	59
Q13-2.歯みがきの回数【男女年代別】	24	【定期健診・予防啓発（推進）への意見】	62
Q14-1.歯間清掃器具の使用	25	【費用・助成・無料化の要望】	64
Q14-2.歯間清掃器具の使用【男女年代別】	26	【医療提供の質・対応への意見】	66
Q15.フッ化物応用の状況	27	【予約・アクセス・行きにくさ】	68
Q16.非常持ち出し袋への歯ブラシ等の準備	28	【学校・園での歯みがき等】	69
Q17.災害時における誤嚥性肺炎リスクの認知度	29	【障がい者配慮・対応】	69
Q18.歯周病に関する症状・お悩み	30	【その他】	70
Q19.口腔機能に関する症状・お悩み	31	4.集計表	74
Q20.その他の歯や口に関する症状・お悩み	32	5.調査票	79

1.調査の概要

概要

◆目的

「静岡市歯と口腔の健康づくり推進計画（令和3～8年度）」の最終評価・次期計画策定に係る基礎資料として、市民の歯と口の健康に関する意識や実態を把握することを目的とする。

◆調査設計

- ・調査対象：静岡市民1歳以上／4,500人
- ・調査方法：64歳以下／郵送配布・オンラインによる回答
65歳以上／郵送配布・郵送回収（またはオンラインによる回答）
- ・調査期間 令和7年8月1日～令和7年8月29日

調査対象の抽出方法

- ・ 静岡市住民基本台帳から2025年3月31日時点の1歳以上の日本人登録者65万2,246人を4つの年齢層と3つの行政区で構成比を算出（図表1）
- ・ 調査サンプル4,500先を市内3区の年齢構成に合わせて抽出数を算出（図表2）
- ・ 健康づくり推進課が過去の同種調査の回答状況を考慮して、年齢層別・地域別ごとに、基本抽出数を補正して最終抽出数を決定（図表3）

図表1 【20250331時点比率】

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市内合計
1～11歳	2.9%	2.4%	2.3%	7.6%
12～19歳	2.6%	2.1%	2.2%	6.9%
20～64歳	19.2%	17.0%	17.3%	53.6%
65歳以上	11.9%	8.8%	11.4%	32.0%
計	36.5%	30.3%	33.2%	100%

図表2 【20250331時点基本抽出数（整数）】

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市全体
1～11歳	129人	108人	103人	340人
12～19歳	115人	95人	100人	310人
20～64歳	865人	767人	778人	2,410人
65歳以上	533人	395人	512人	1,440人
計	1,642人	1,365人	1,493人	4,500人

図表3 【20250331過去の実績に基づく最終抽出数】

年齢区分	葵区	駿河区	清水区	市全体
1～11歳	▼9人 120人	+2人 110人	+7人 110人	±0人 340人
12～19歳	+25人 140人	+25人 120人	+20人 120人	+70人 380人
20～64歳	+25人 890人	+23人 790人	+22人 800人	+70人 2,480人
65歳以上	▼43人 490人	▼45人 350人	▼52人 460人	▼140人 1,300人
計	1,640人	1,370人	1,490人	4,500人

調査の結果

- ①回答期限を8月29日に設定したが8月30日までに回答があった 1,518人で集計作業を行った。（図表4）
- ②年齢層別回収率は、抽出時と回答時の年齢区分が一部異なるため、思春期と成人期は推定値で算出した。（図表5）

図表4 アンケート発送・回収状況

発送数	4,500人
回収数	1,518人 郵送：651件 WEB：867件
回収率	33.7% [内訳] 郵送：42.9% WEB：57.1%

図表5 年齢層別回収率（思春期と成人期は推定値）

年齢区分	抽出数	有効回答数	回収率
1～11歳	340	117	34.4%
12～19歳	380	111	29.2%
20～64歳	2,480	602	24.3%
65歳以上	1,300	678	52.2%
計	4,500	1,508人	33.5%

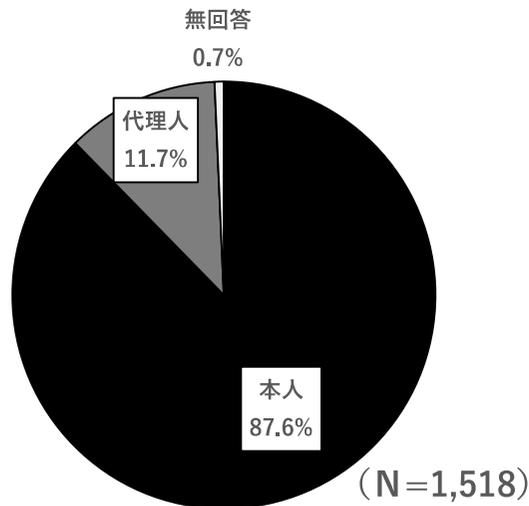
*10名は年齢無回答

【集計処理】

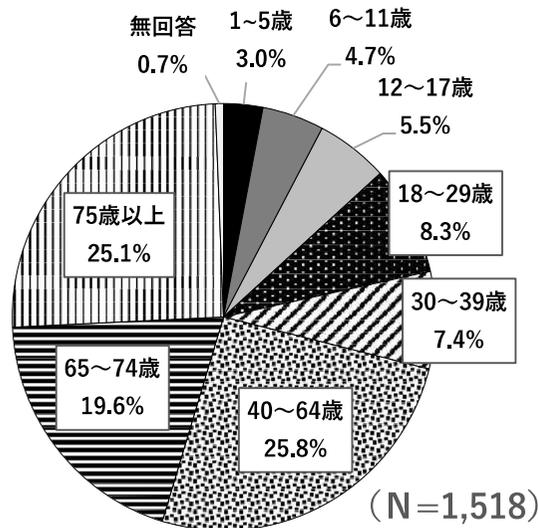
- ①当該質問に回答がない場合には「無回答」として取り扱った。
- ②回答比率の合計は端数処理（四捨五入）をしている関係で、表示した比率の単純計算の値が100%にならない場合がある。
- ③2ページの「年齢区分」をさらに細分化したQ2の回答肢により、層別分析を行った。

2.回答者属性

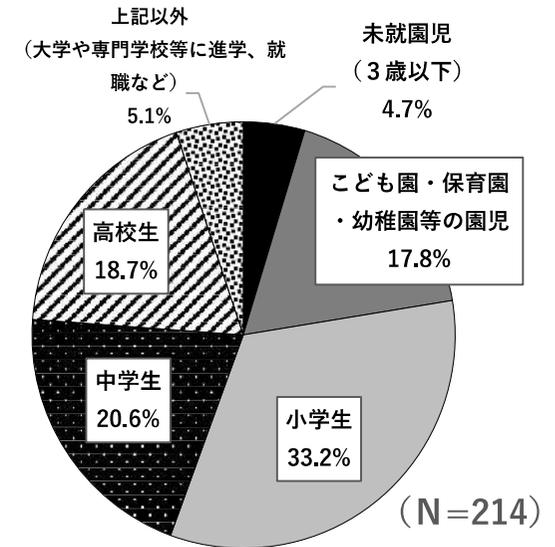
Q1.回答者



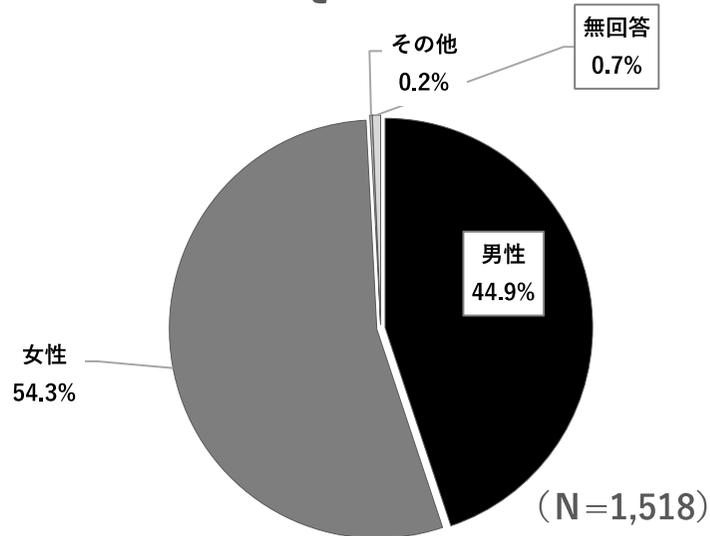
Q2-1.年代



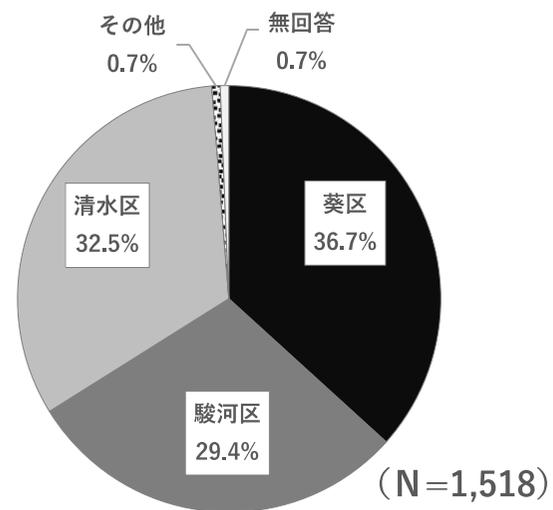
Q2-2.18歳以下属性



Q3.性別



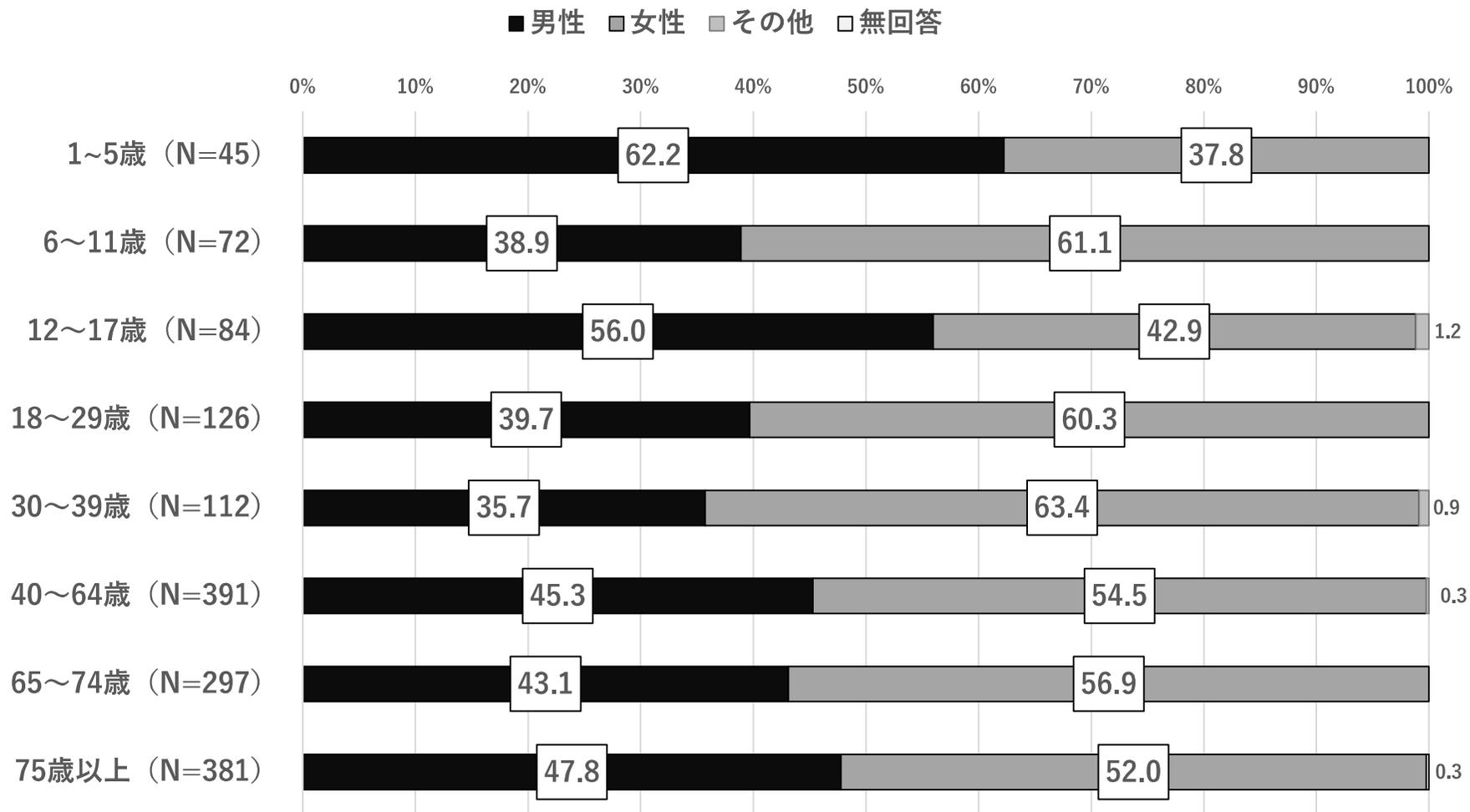
Q4.居住区



3.年代別集計

Q3.性別

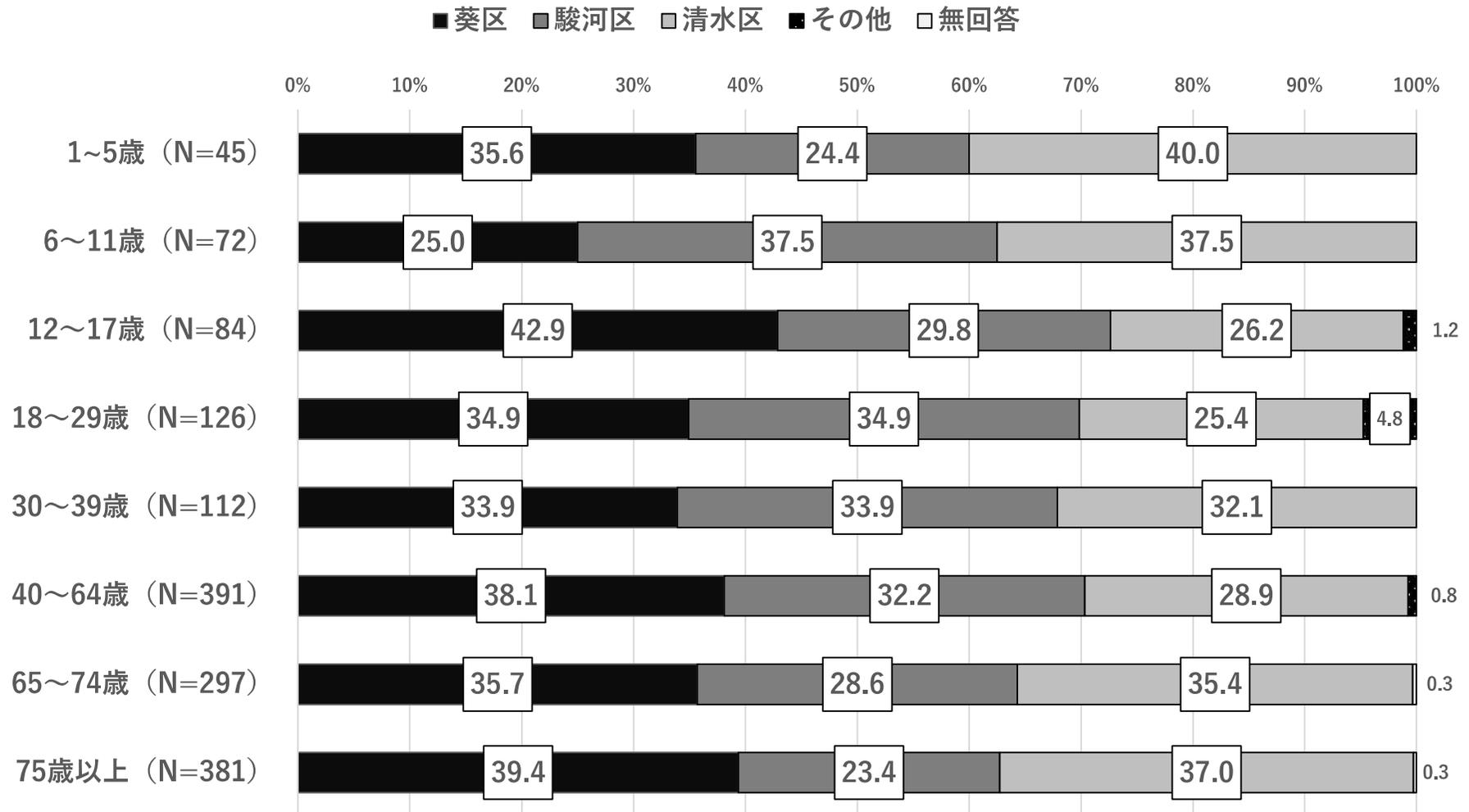
ご本人の性別を1つ選択してください。(単一回答)



性別は、“1~5歳”“12~17歳”は男性が高く、“6~11歳”と18歳以上は女性が高くなっています。

Q4.居住区

ご本人の居住地を1つ選択してください。(単一回答)

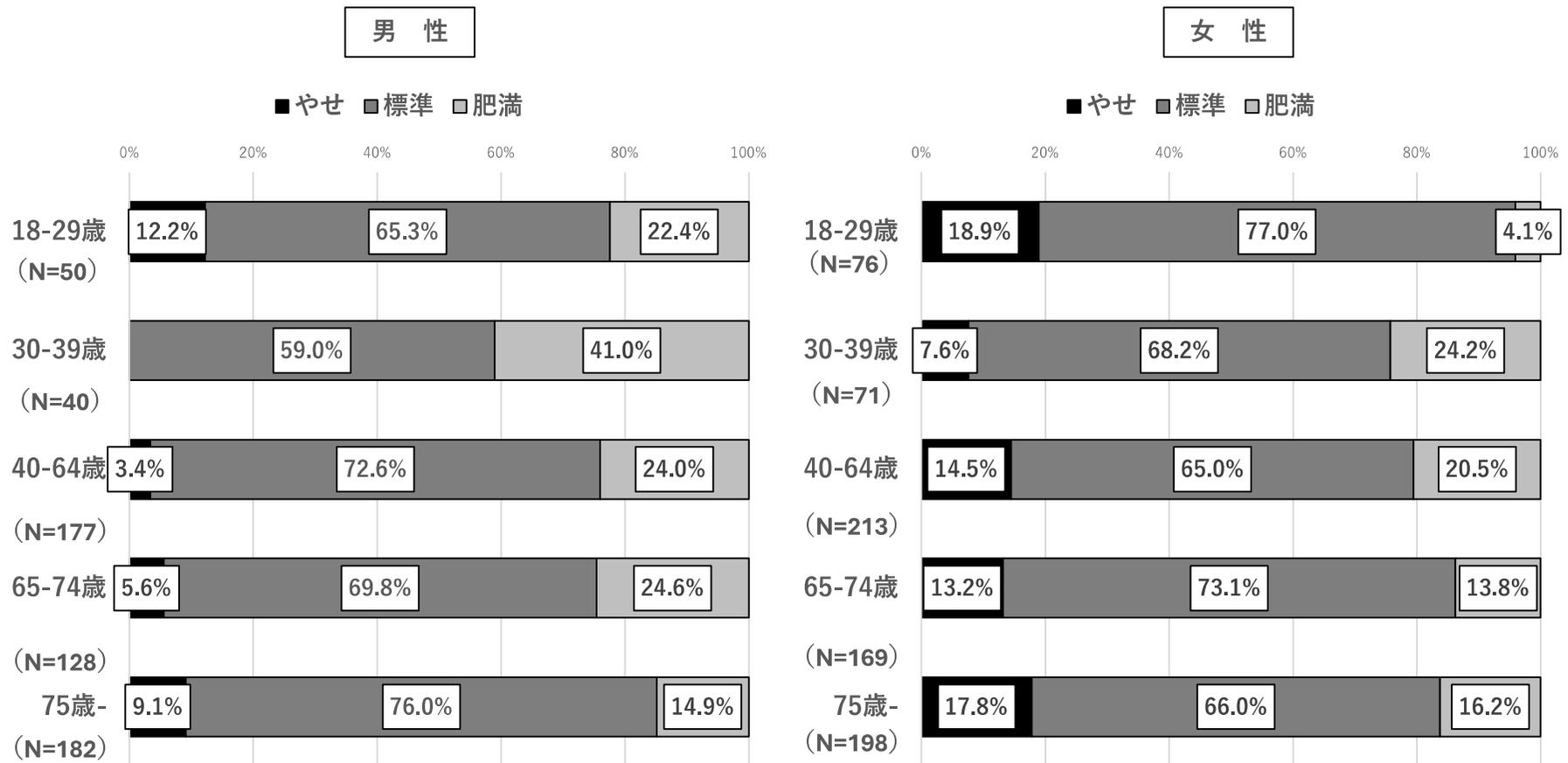


居住区は、すべての年代において、「葵区」「駿河区」「清水区」それぞれが3割前後となっています。

Q5.身長と体重から算出した男女別BMI（肥満度）

ご本人の身長と体重を教えてください。（自由記述）

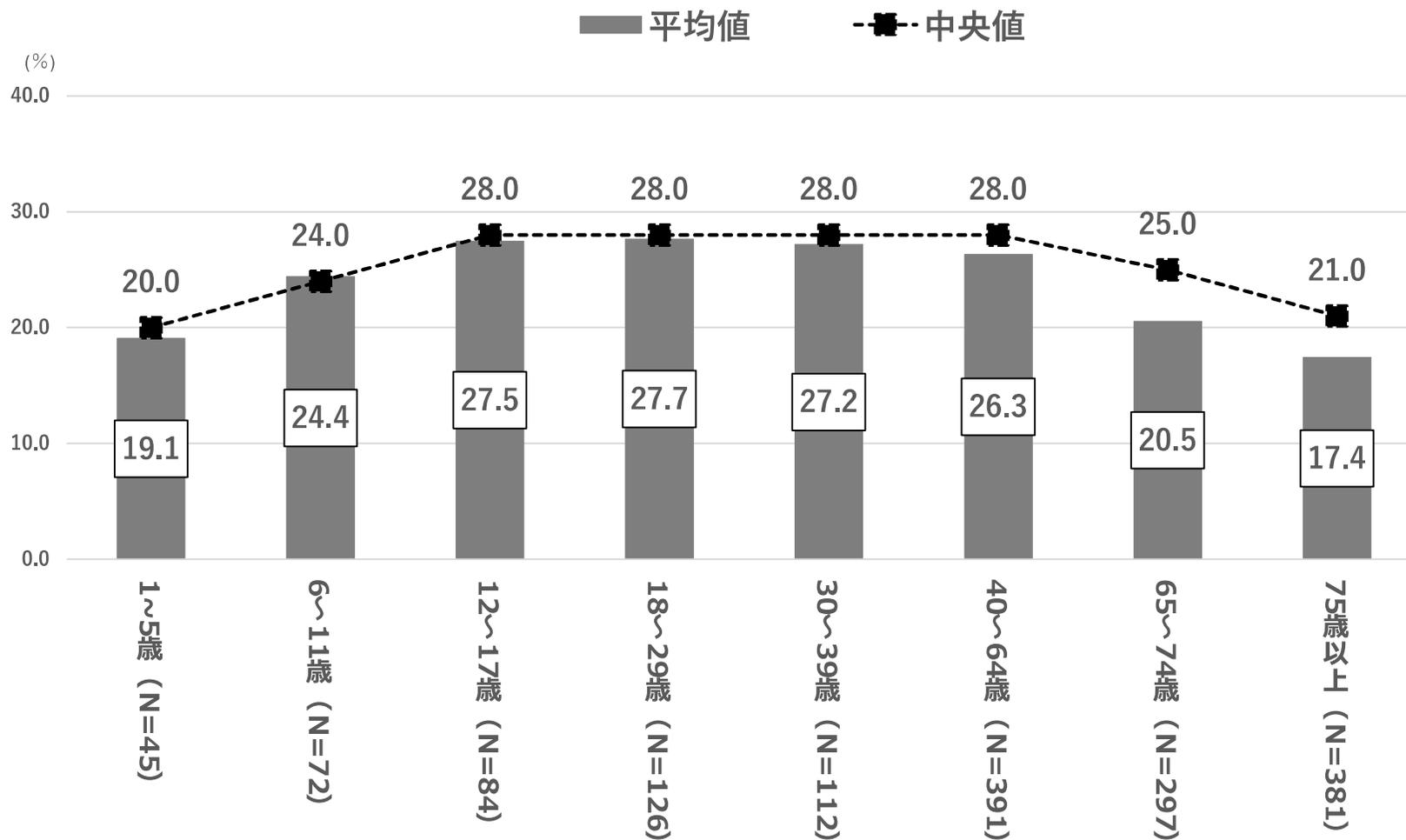
※算出方法 体重(kg)/身長(m)の2乗、やせ<18.5、18.5≦標準<25、肥満≧25



18歳以上のBMIを男女別にみると、男性では“30～39歳”で肥満の割合が41.0%と最も高くなっています。女性では、“18～29歳”と“75歳以上”でやせの割合が2割近くみられます。

Q6-1. 歯の本数

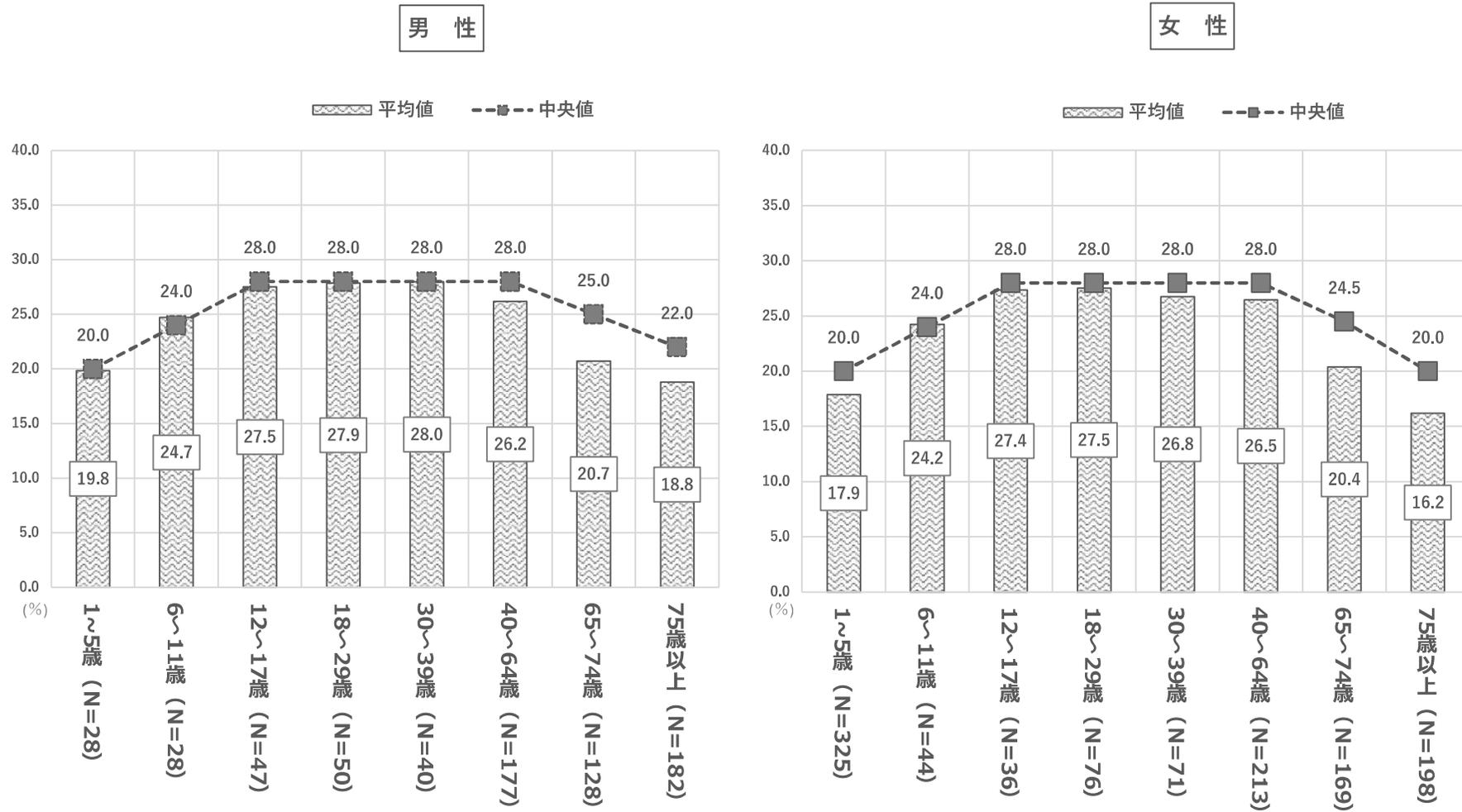
ご本人の歯の本数を教えてください。[※親知らずは除く] (自由記述)



歯の本数は、平均値、中央値とも65歳を過ぎると減少傾向に転じています。

Q6-2.歯の本数【男女年代別】

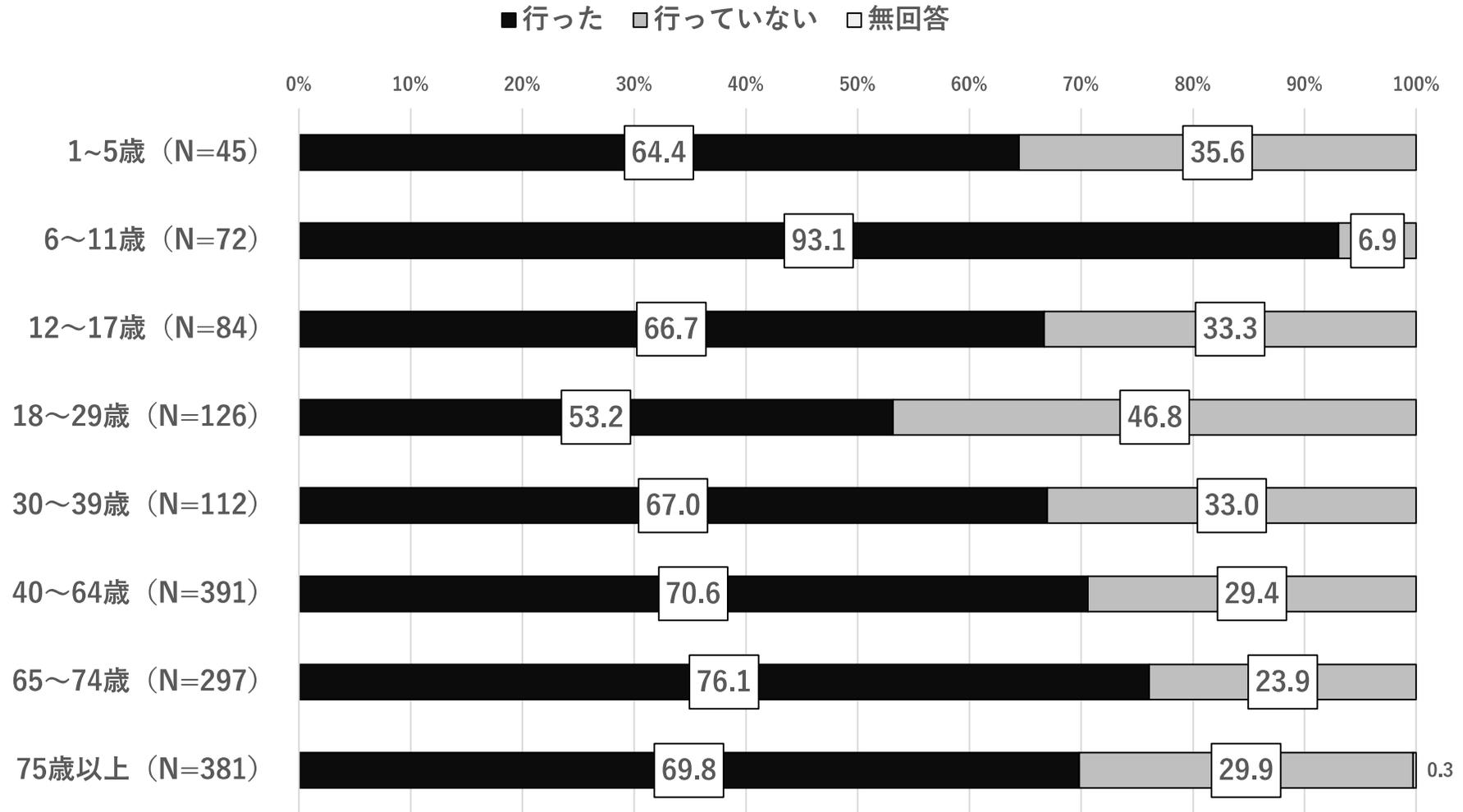
ご本人の歯の本数を教えてください。[※親知らずは除く]（自由記述）



男女年代別にみても歯の本数は、男女とも65歳を過ぎると減少傾向に転じています。

Q7-1.過去1年間の歯科受診の有無

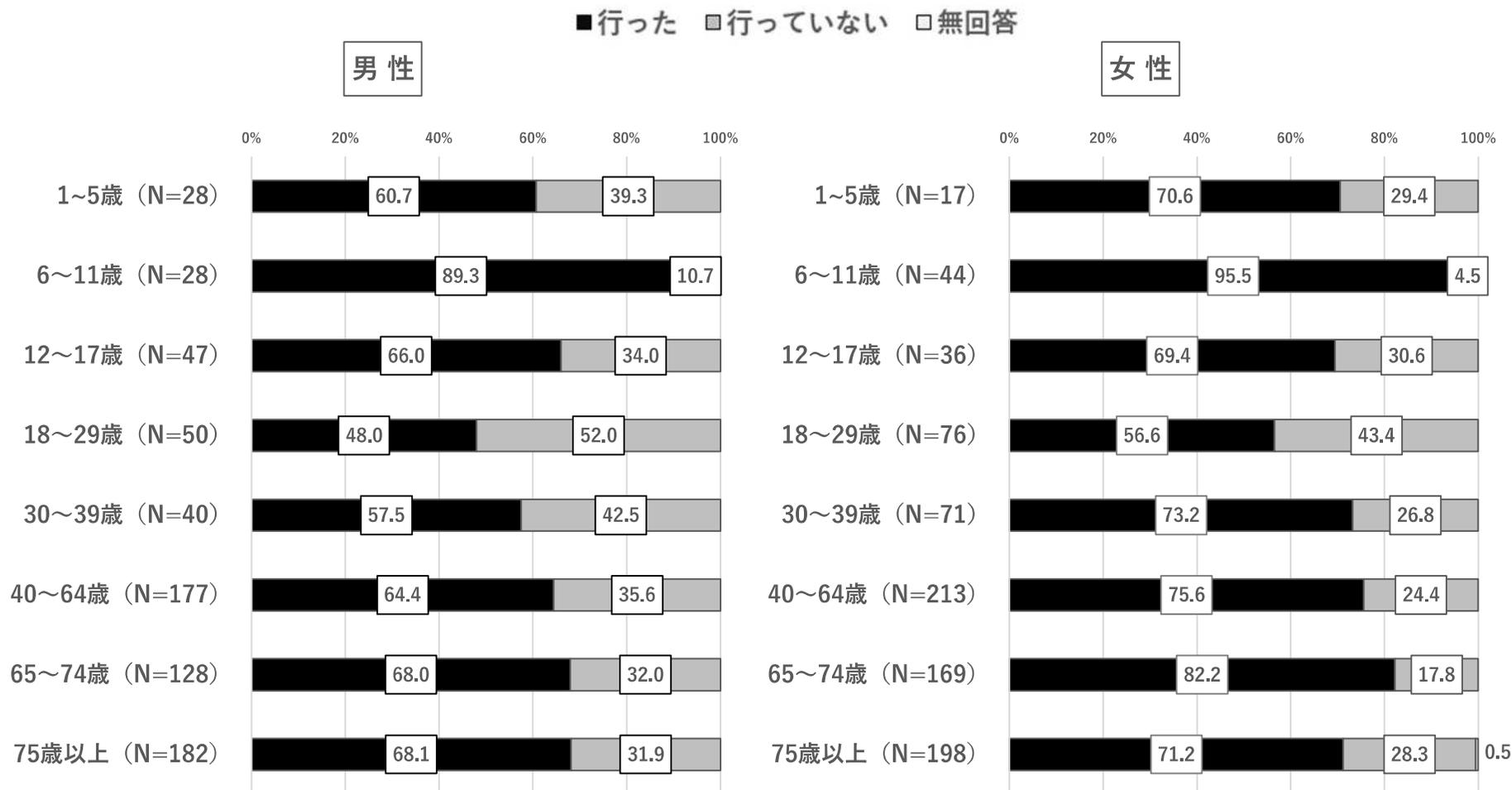
ご本人は、この1年（2024年8月～2025年7月）の間に歯科医院に行きましたか。（単一回答）



過去1年間に歯科医院へ「行った」と回答した人の割合は、「6～11歳」が93.1%で最も高く、「18～29歳」が53.2%で最も低くなっています。

Q7-2.過去1年間の歯科受診の有無【男女年代別】

ご本人は、この1年（2024年8月～2025年7月）の間に歯科医院に行きましたか。（単一回答）



男女年代別では、すべての年代で男性に比べて女性で「行った」が高くなっています。特に“30～39歳”“40～64歳”“65～74歳”では、10%以上女性が高い状況です。

Q8.過去1年間に歯科医院へ行った理由・目的

【前問で「行った」を選んだ方】ご本人が歯科医院に行った理由あるいは目的は何ですか。（複数回答）

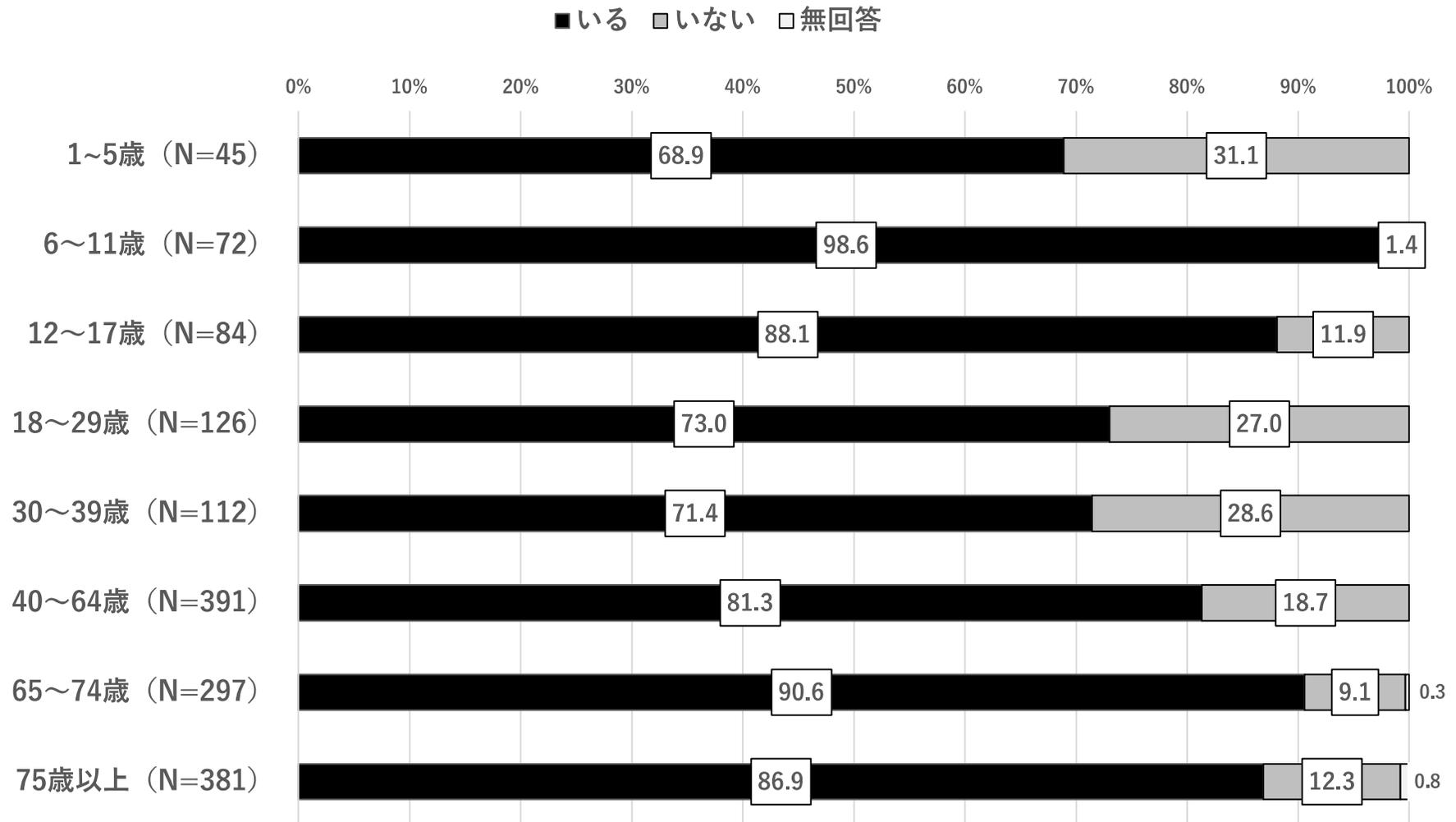
	1~5歳 (N=29)	6~11歳 (N=67)	12~17歳 (N=56)	18~29歳 (N=67)	30~39歳 (N=75)	40~64歳 (N=276)	65~74歳 (N=226)	75歳以上 (N=266)
歯並び・かみ合わせ	3.4	26.9	30.4	16.4	4.0	3.3	3.5	10.5
歯科健診	79.3	65.7	71.4	47.8	56.0	59.1	54.9	56.4
歯周病	0.0	0.0	0.0	7.5	5.3	10.5	15.9	16.2
入れ歯	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	13.7	28.9
歯垢や歯石の除去	20.7	25.4	32.1	46.3	52.0	60.5	54.9	48.1
口内炎	3.4	0.0	5.4	3.0	0.0	0.4	1.3	3.8
むし歯	6.9	19.4	16.1	23.9	34.7	15.2	23.5	21.8
その他	13.8	13.4	10.7	19.4	18.7	17.4	8.8	8.3

(%)

過去1年間に歯科医院へ行った理由・目的は、すべての年代で「歯科健診」が高くなっています。また、「6~11歳」「12~17歳」では、「歯並び・かみ合わせ」が3割程度、18歳以上では「歯垢や歯石の除去」の割合が4割を超えて高くなっています。

Q9.かかりつけ歯科医の有無

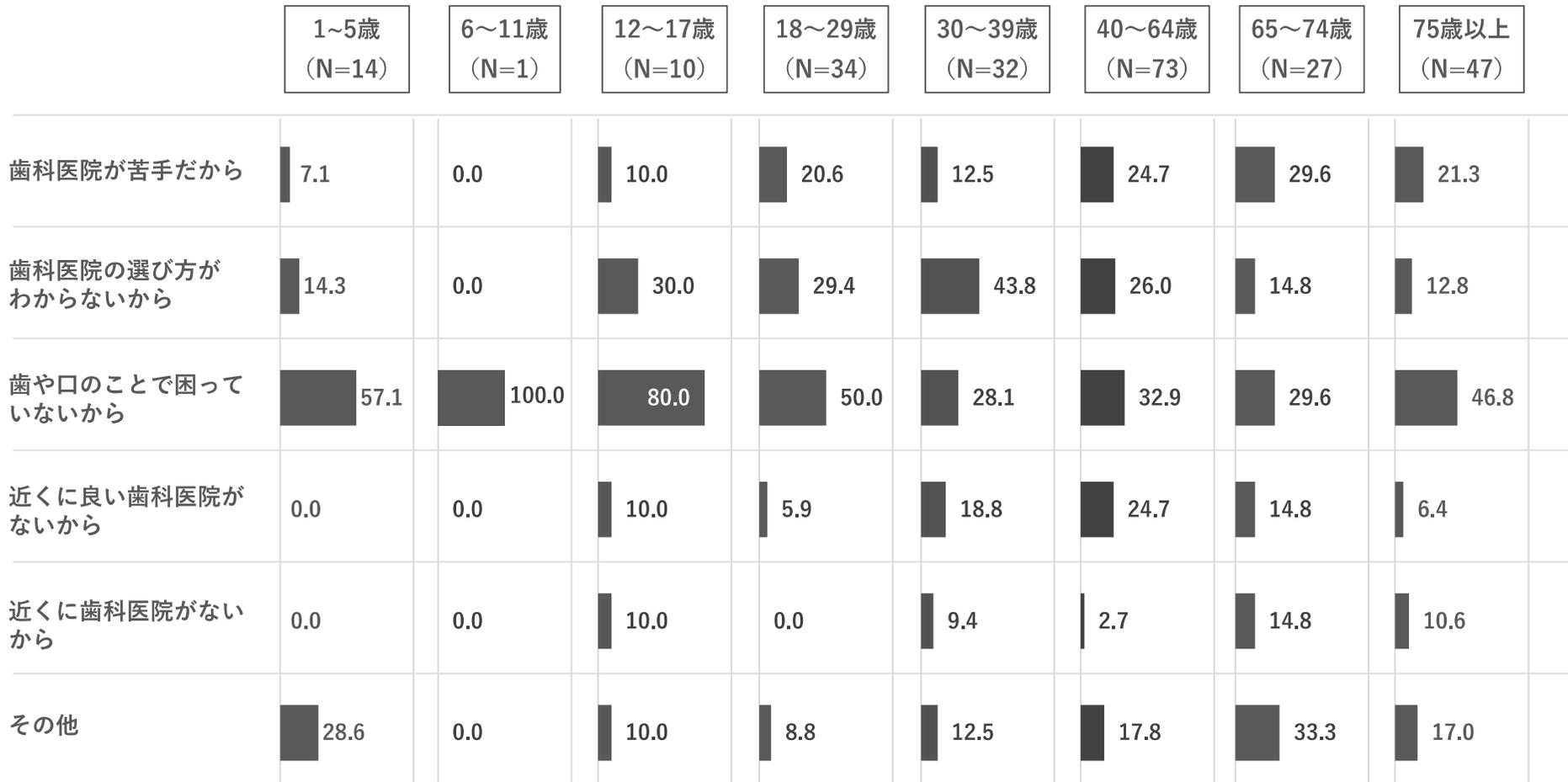
ご本人は、歯や口に関して治療や相談ができる歯科医（いわゆる“かかりつけ歯科医”）がいますか。（単一回答）



かかりつけ歯科医が「いる」と回答した人の割合は、“6~11歳”が98.6%で最も高くなっています。

Q10.かかりつけ歯科医がない理由

【前問で「いない」を選んだ方】「かかりつけ歯科医」がない理由は何ですか。（複数回答）

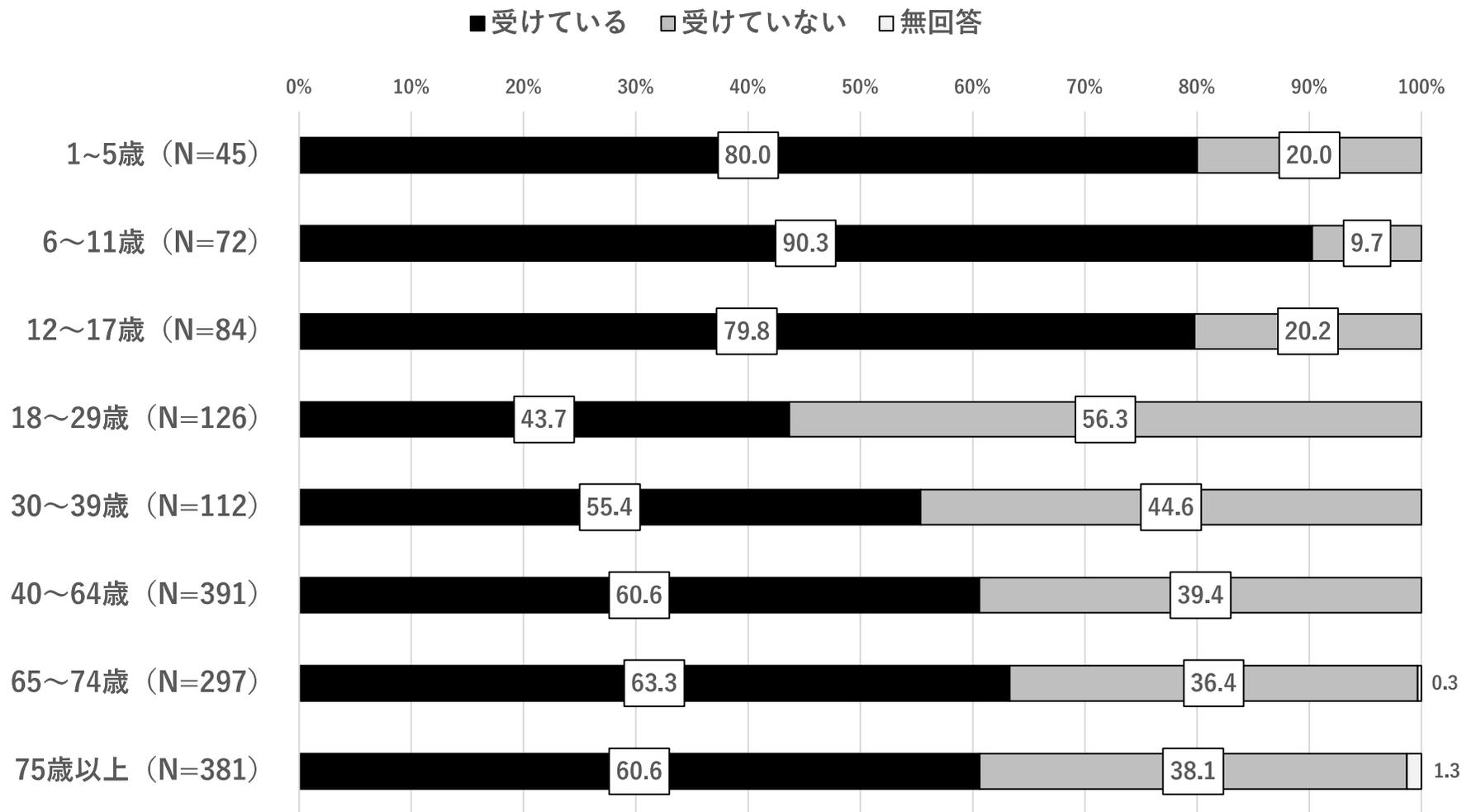


(%)

かかりつけ歯科医がない理由は、「30~39歳」が、「歯科医院の選び方がわからないから」が最も高く、その他の年代では、「歯や口のことで困っていないから」が最も高くなっています。

Q11-1. 歯科健診の受診

ご本人は、年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。（単一回答）

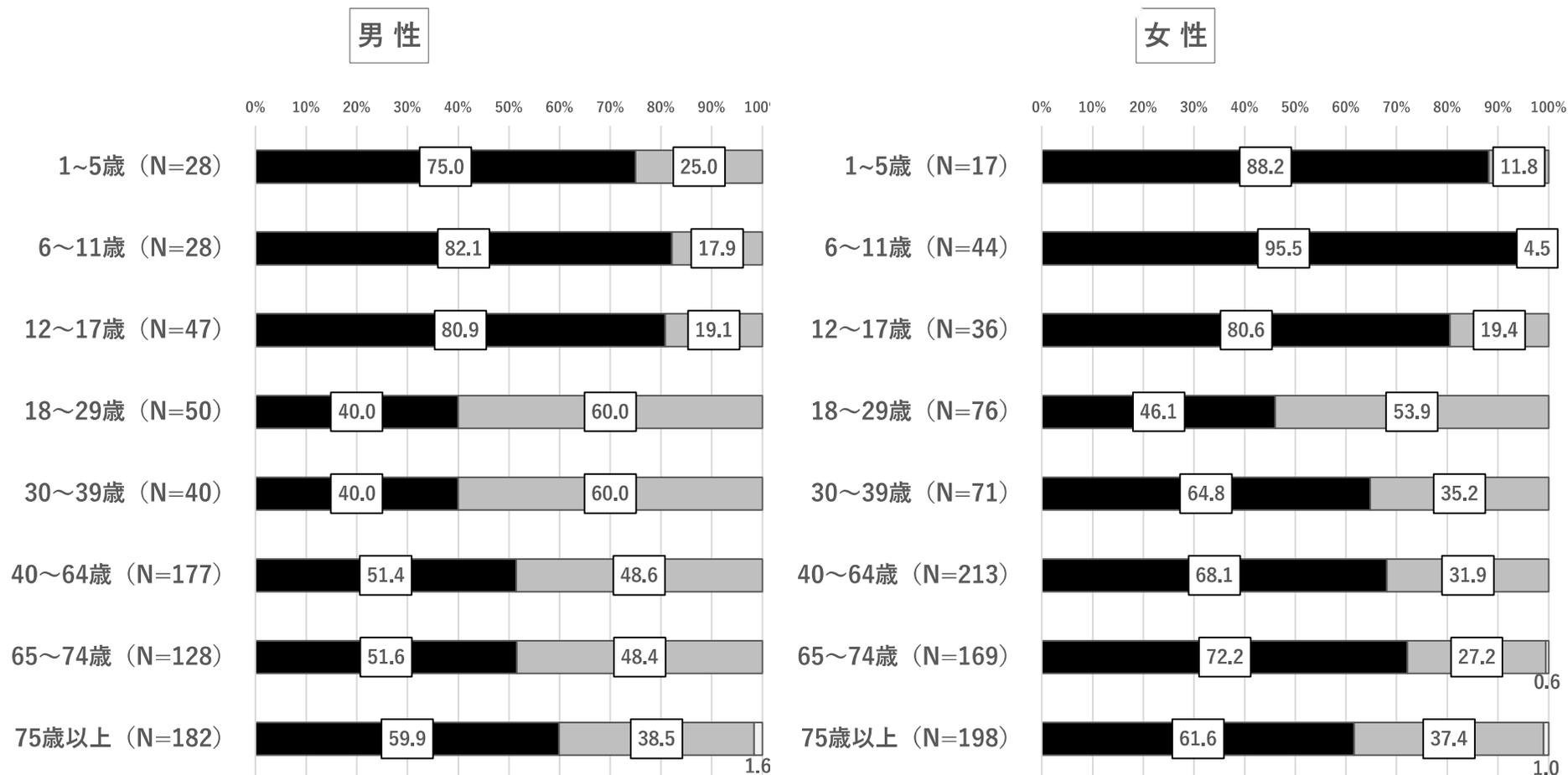


年に1回以上定期的に歯科健診を「受けている」と回答した人の割合は、“18~29歳”が43.7%で最も低くなっています。

Q11-2. 歯科健診の受診【男女年代別】

ご本人は、年に1回以上定期的に歯科健診を受けていますか。（単一回答）

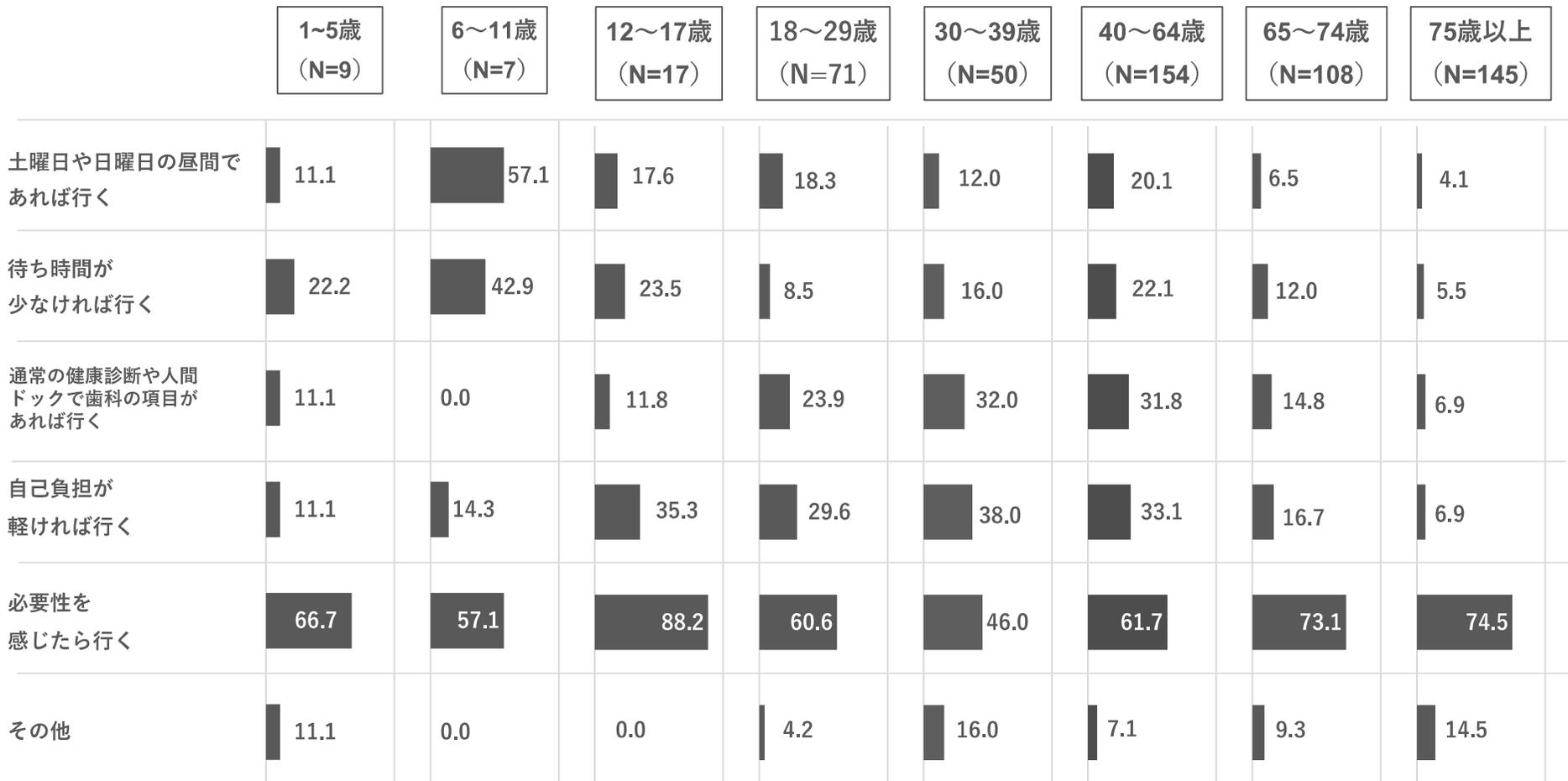
■受けている □受けていない □無回答



男女年代別では、「受けている」と回答した人の割合は、男性に比べて女性で高い傾向となっています。

Q12. 歯科健診に行く条件

【前問で「受けていない」を選んだ方】ご本人は、どのような条件が整えば、歯科健診に行こうと思いますか。（複数回答）

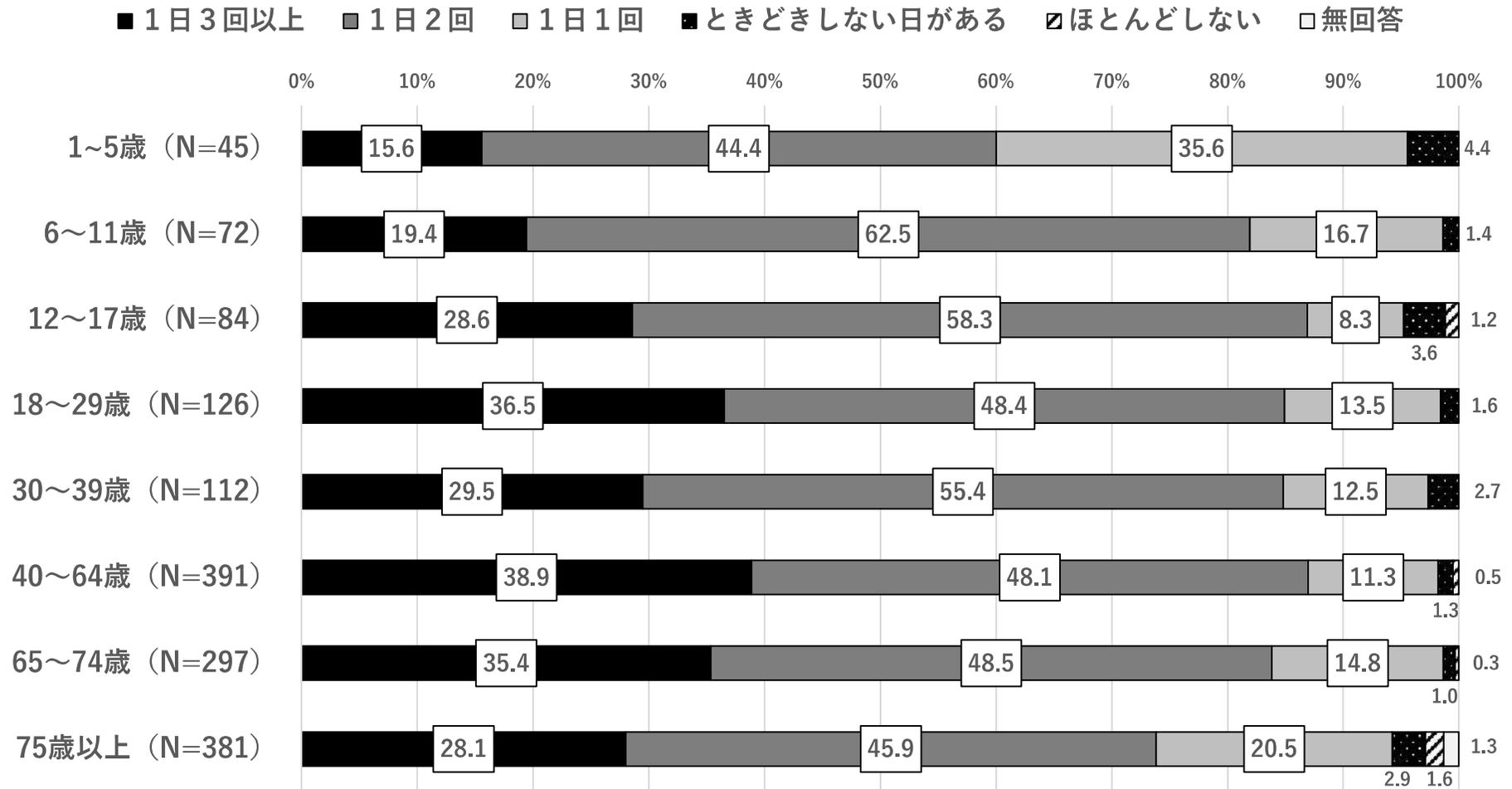


(%)

歯科健診に行く条件は、「必要性を感じたら行く」が最も高くなっています。
また、「6~11歳」は「土曜日や日曜日の昼間であれば行く」も5割を超えています。

Q13-1.歯みがきの回数

ご本人は、「歯みがき」をしますか。[※保護者や介護者等による歯みがきを含む] (単一回答)



歯みがきの回数は、すべての年代において「1日2回」と回答した人が最も高くなっています。

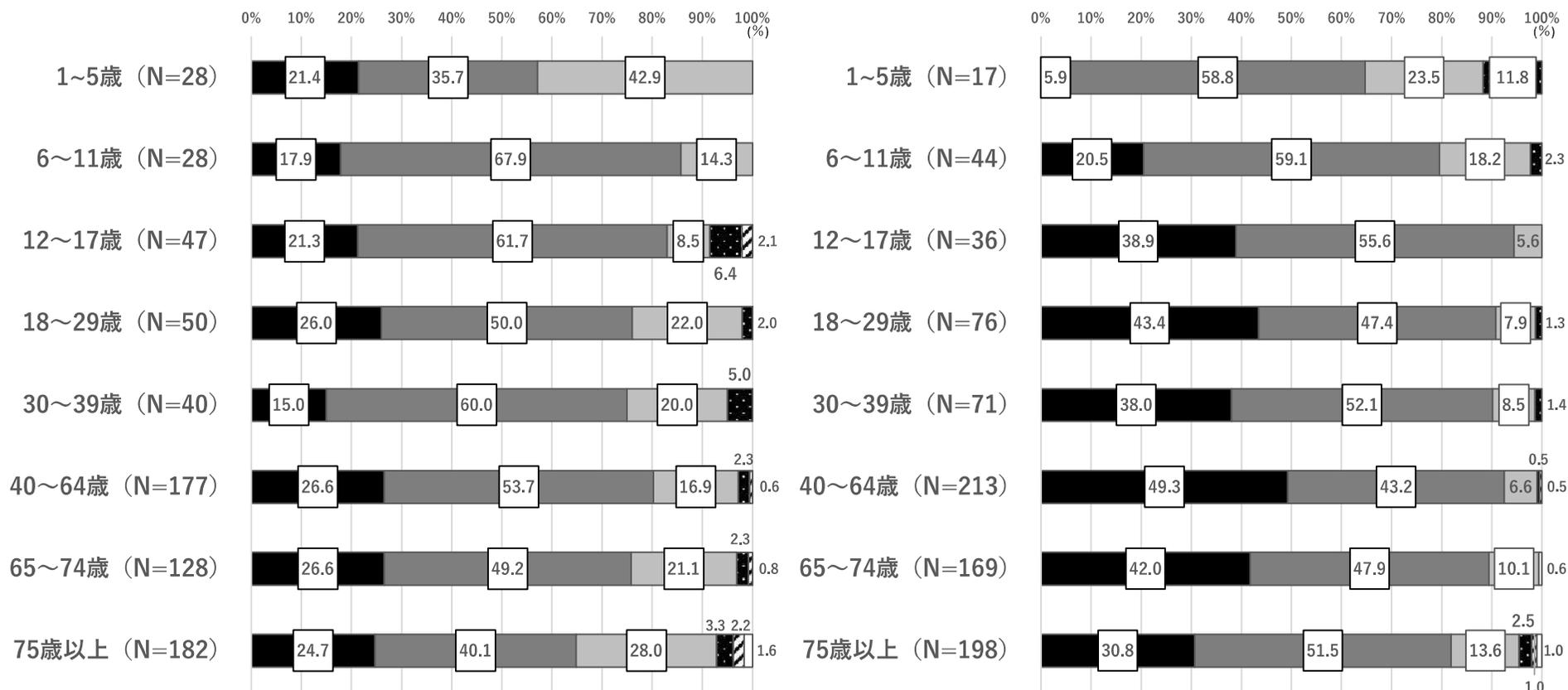
Q13-2.歯みがきの回数【男女年代別】

ご本人は、「歯みがき」をしますか。[※保護者や介護者等による歯みがきを含む] (単一回答)

■ 1日3回以上 ■ 1日2回 ■ 1日1回 ■ ときどきしない日がある ■ ほとんどしない □ 無回答

男性

女性

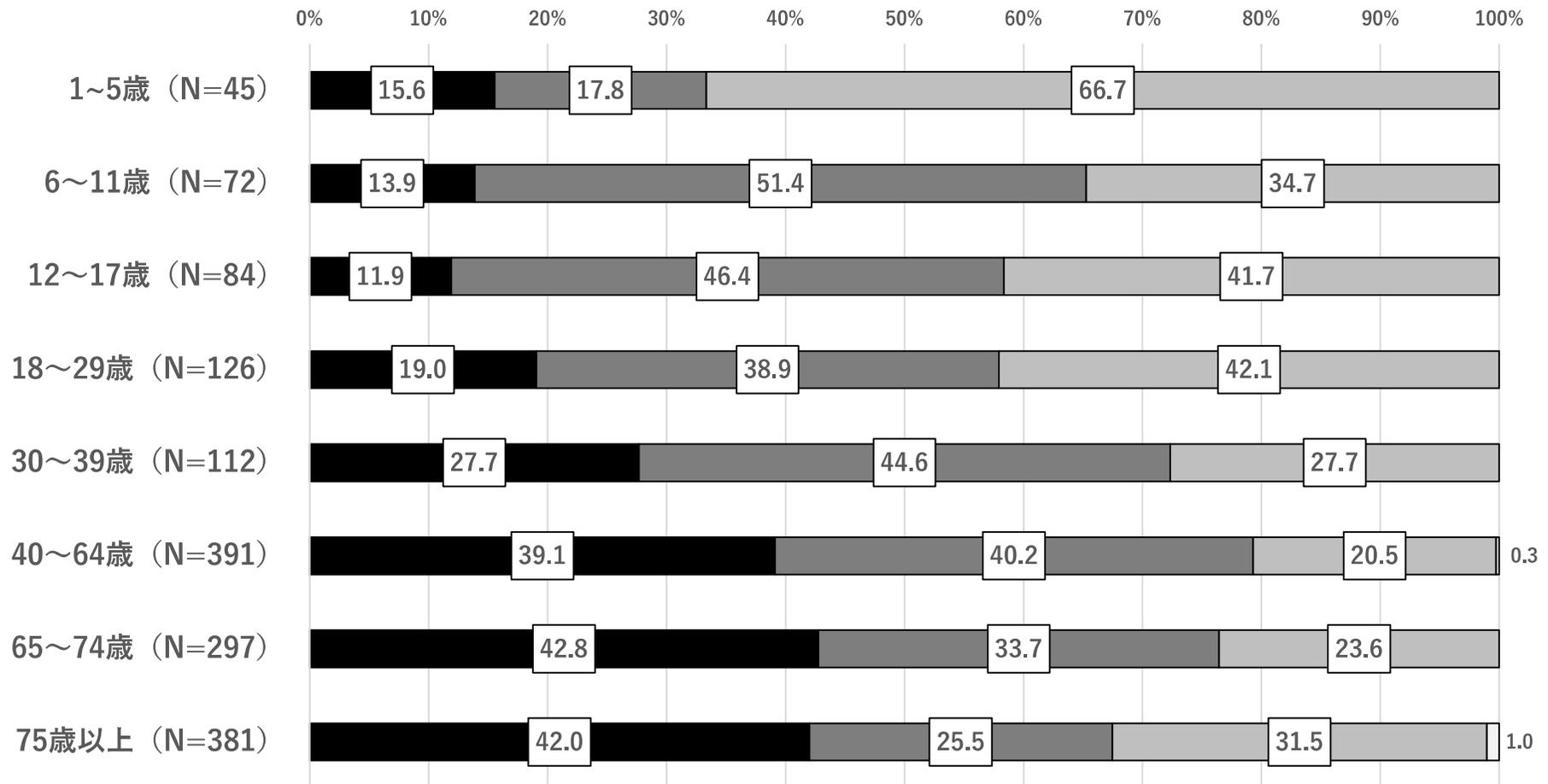


男女年代別では、「1日3回以上」と回答した人の割合は男性に比べて女性で高い傾向となっています。

Q14-1. 歯間清掃器具の使用

ご本人は、デンタルフロス（糸）や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための器具を使っていますか。[※保護者や介護者等による使用を含む]
 (単一回答)

■ ほぼ毎日使っている ■ 時々使っている □ 使っていない □ 無回答



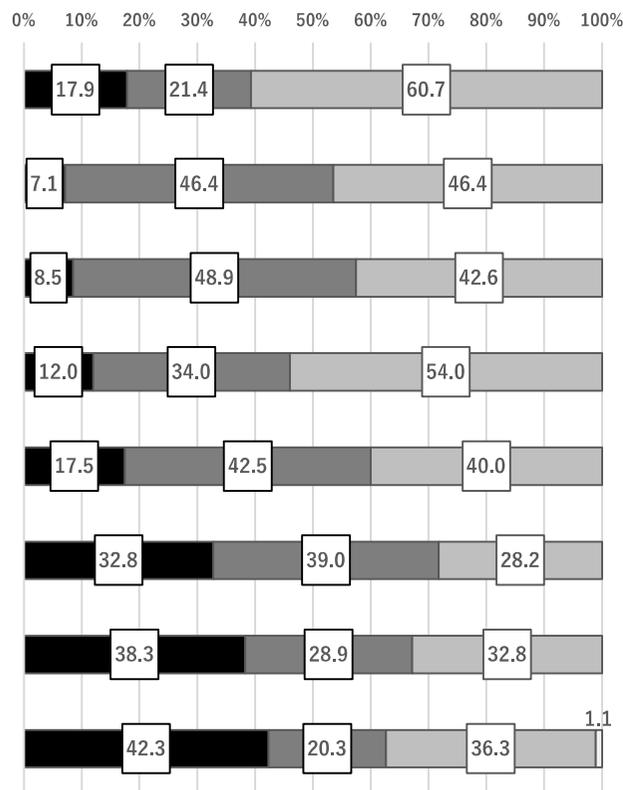
歯間清掃器具を「使っている（「ほぼ毎日使っている」 + 「時々使っている」）」と回答した人の割合は、「40~64歳」が79.3%で最も高くなっています。

Q14-2. 歯間清掃器具の使用【男女年代別】

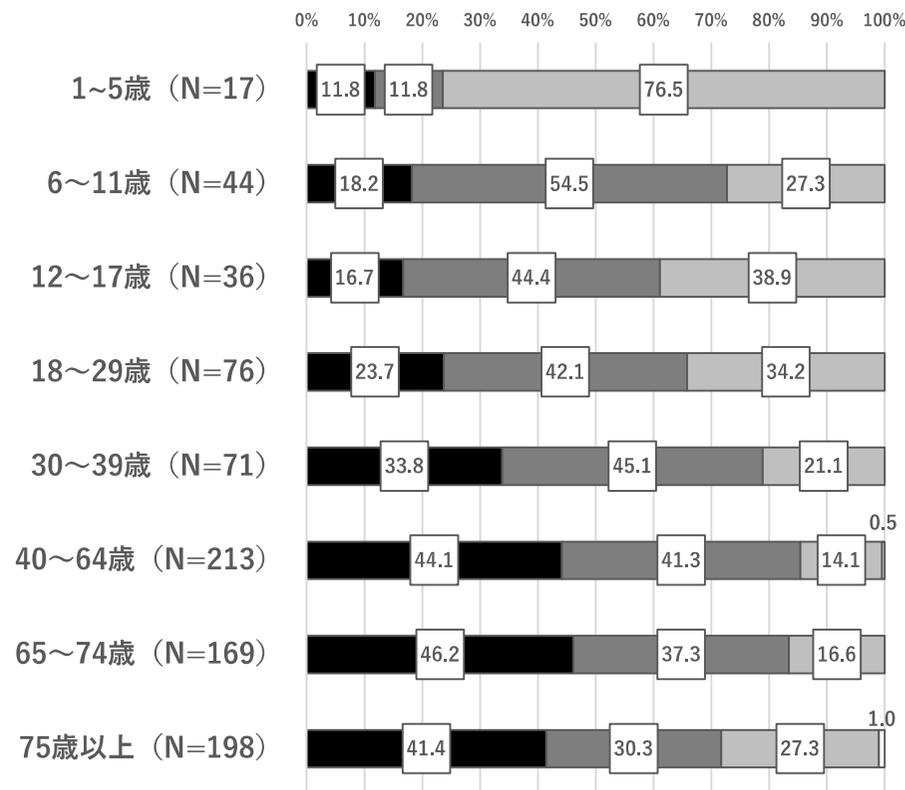
ご本人は、デンタルフロス（糸）や歯間ブラシなど、歯と歯の間を清掃するための器具を使っていますか。[※保護者や介護者等による使用を含む]
 (単一回答)

■ ほぼ毎日使っている ■ 時々使っている □ 使っていない □ 無回答

男性



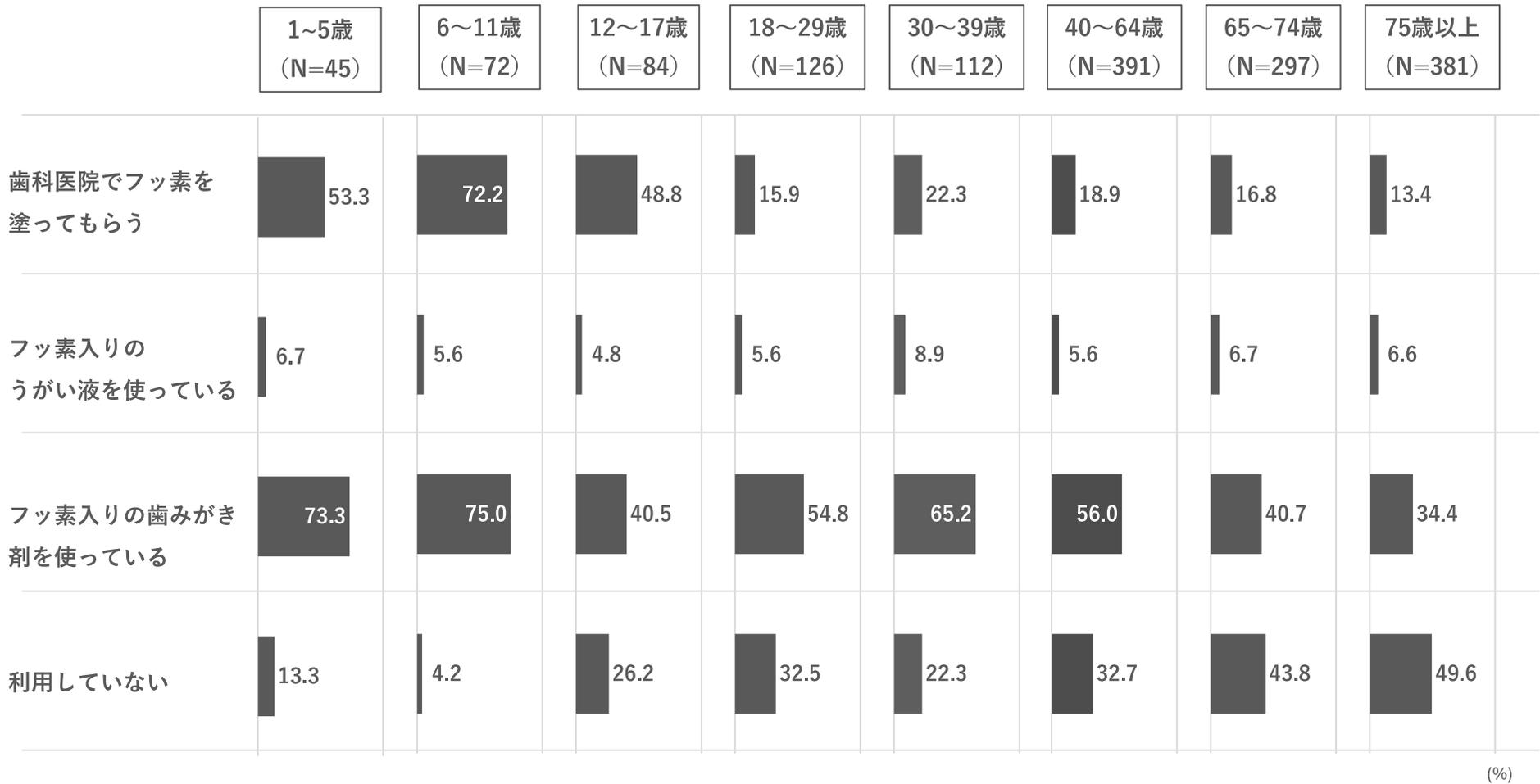
女性



男女年代別では、「使っている（「ほぼ毎日使っている」 + 「時々使っている」）」と回答した人の割合は、男性に比べて女性で高い傾向にあります。

Q15.フッ化物応用の状況

ご本人は、むし歯予防のために、フッ素を使った製品などで歯のケアをしていますか。（複数回答）

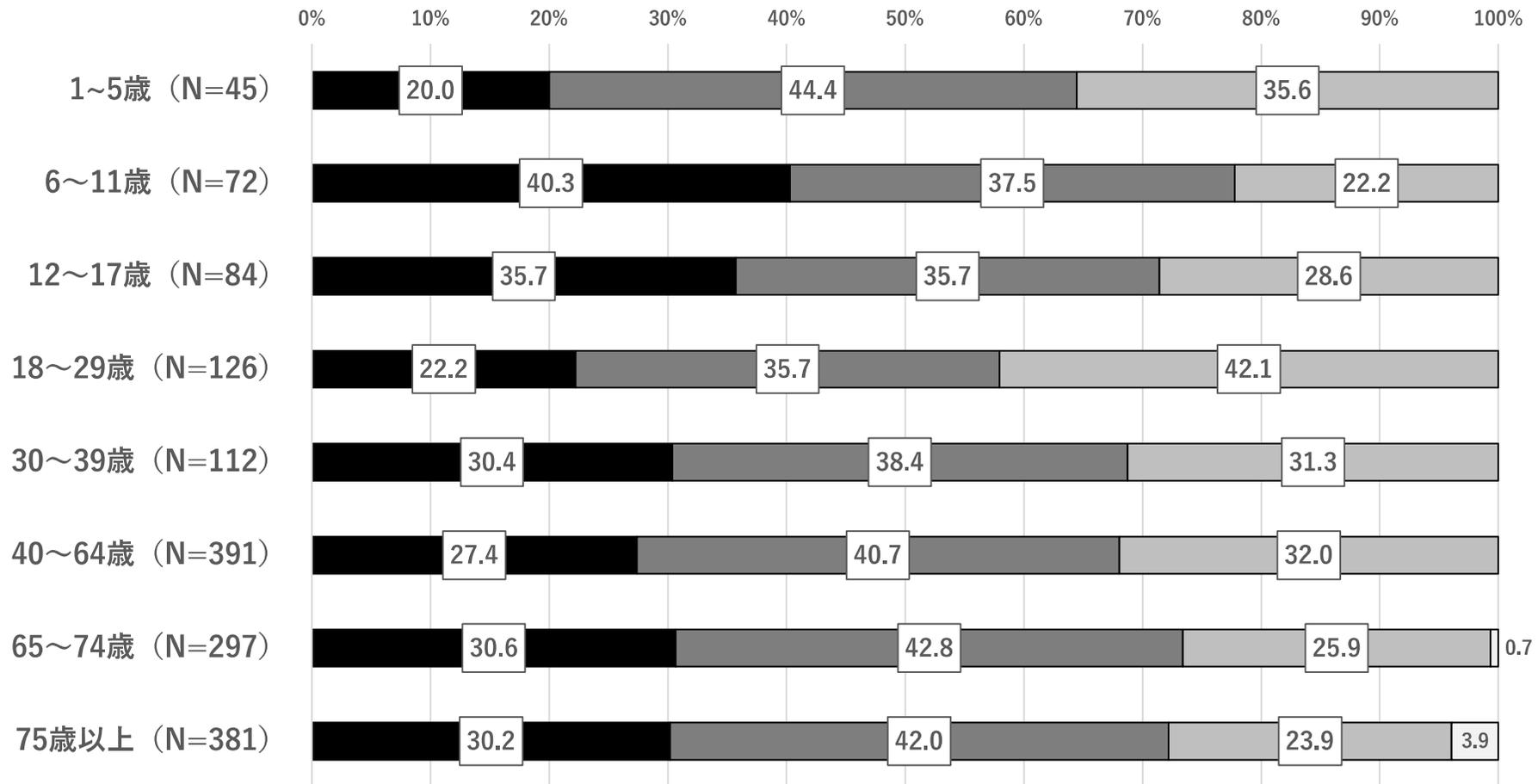


むし歯予防のためのフッ素の使用状況は、「歯科医院でフッ素を塗ってもらう」と回答した人の割合は、17歳以下で高くなっています。また、「フッ素入りの歯みがき剤を使っている」と回答した人の割合は、11歳以下は7割、12歳以上は4割を超えています。

Q16.非常持ち出し袋への歯ブラシ等の準備

ご本人のお宅では、非常時の「非常持ち出し袋」の中に、歯ブラシや液体歯みがきが入っていますか。（単一回答）

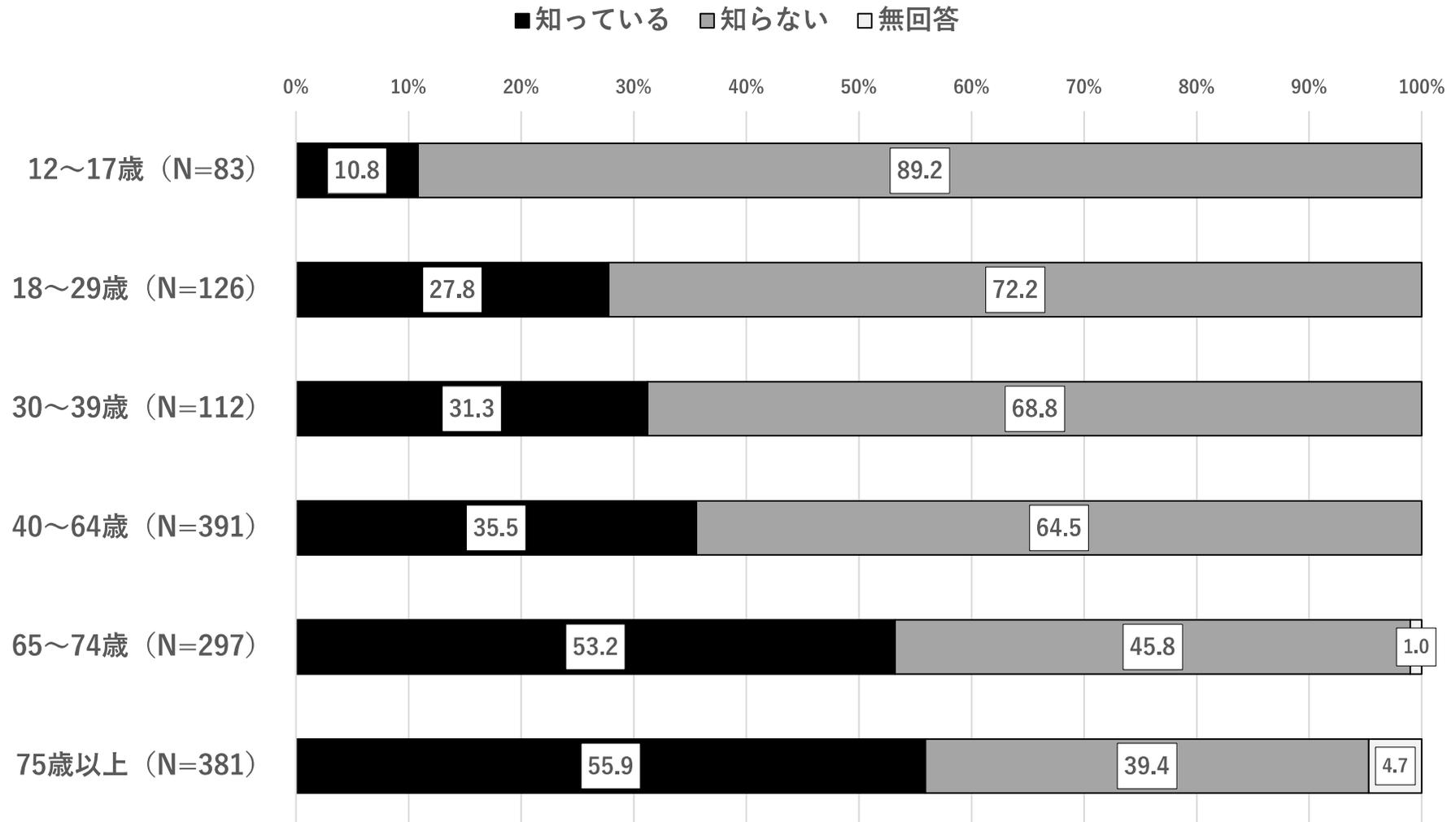
■入っている ■入っていない □非常持ち出し袋がない □無回答



「非常持ち出し袋」の中に歯ブラシや液体歯みがきが「入っている」と回答した人の割合は、「6~11歳」が40.3%で最も高くなっています。

Q17.災害時における誤嚥性肺炎リスクの認知度

ご本人は、「災害時に十分な口腔ケアができないと誤嚥（ごえん）性肺炎※になる可能性がある」ことを知っていますか。（単一回答）



災害時の誤嚥性肺炎リスクを「知っている」と回答した人の割合は、「75歳以上」が55.9%で最も高くなっています。

Q18.歯周病に関する症状・お悩み

ご本人は、下記のような歯や口に関する症状やお悩みはありますか。【歯周病に関すること】（複数回答）

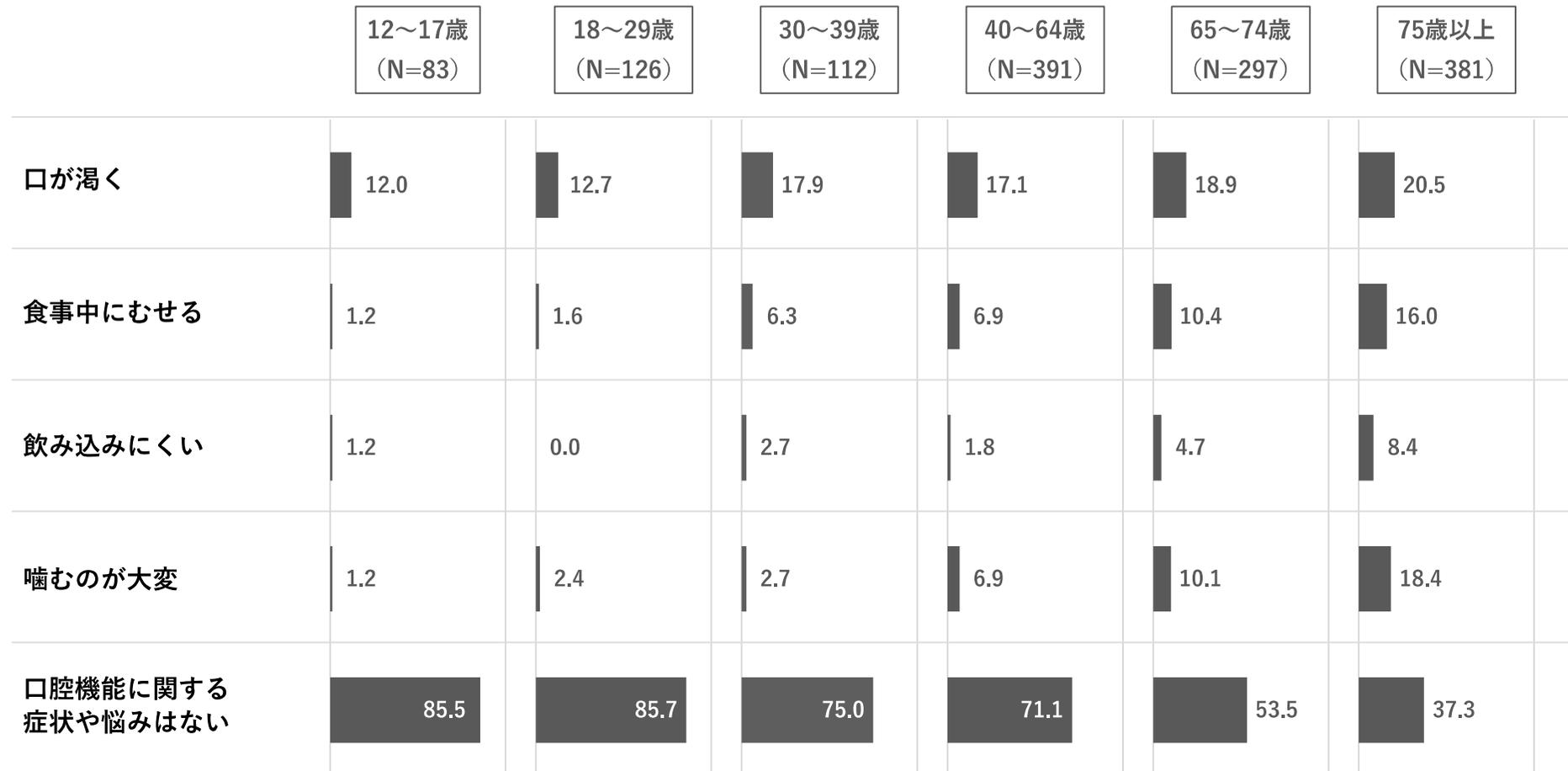
	12～17歳 (N=83)	18～29歳 (N=126)	30～39歳 (N=112)	40～64歳 (N=391)	65～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=381)
歯をみがいた時に血がでる	14.5	17.5	27.7	18.7	10.1	11.5
歯のすき間が広がったり、 歯が長く伸びた感じがしたりする	4.8	11.9	13.4	35.3	35.0	20.5
歯が浮くような感じ、 または歯ぐきがムズムズする	1.2	2.4	2.7	3.3	3.7	5.5
歯ぐきの腫れ	2.4	7.1	11.6	14.3	13.5	16.3
口臭	8.4	21.4	32.1	19.2	19.9	12.9
歯ぐきから膿がでる	1.2	0.0	0.9	1.8	2.0	1.3
歯のぐらつき	0.0	0.8	0.9	6.6	10.8	14.2
歯垢、歯石	20.5	38.1	41.1	47.1	33.7	26.2
歯周病に関する症状やお悩みはない	61.4	41.3	30.4	24.3	22.6	24.4

(%)

歯周病に関する症状では、「歯をみがいた時に血が出る」「口臭」と回答した人の割合は、「30～39歳」が最も高く、「歯のすき間が広がったり、歯が長く伸びた感じがしたりする」「歯垢・歯石」は、「40～64歳」が最も高くなっています。

Q19.口腔機能に関する症状・お悩み

ご本人は、下記のような歯や口に関する症状やお悩みはありますか。【口腔機能に関すること】（複数回答）

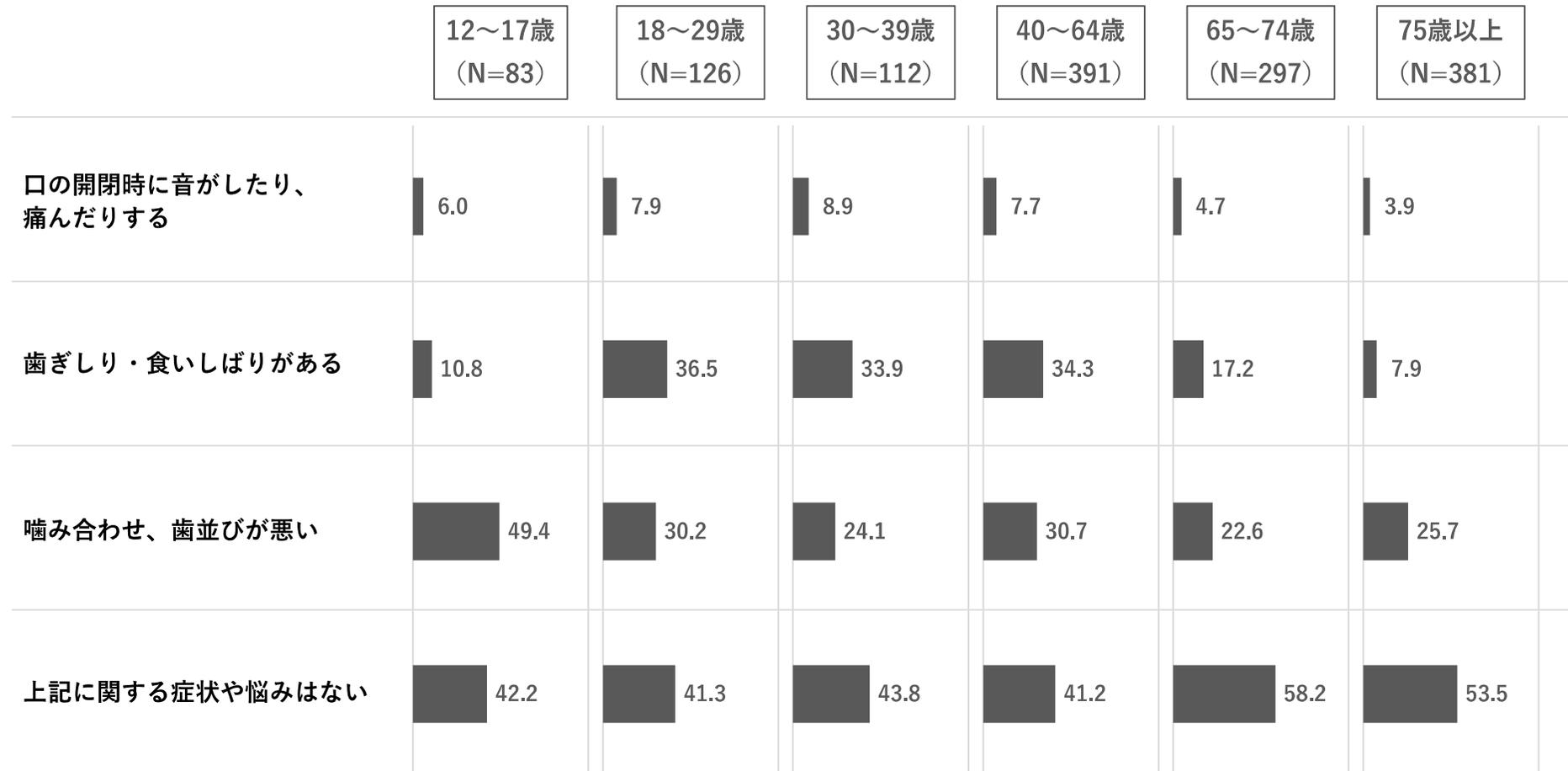


(%)

口腔機能に関する症状では、「口が渴く」「食事にむせる」「噛むのが大変」と回答した人の割合は、年齢が上がるにつれて増加傾向となっています。

Q20. その他の歯や口に関する症状・お悩み

ご本人は、下記のような歯や口に関する症状やお悩みはありますか。【その他】（複数回答）



(%)

その他の歯や口に関する症状では、「歯ぎしり・食いしばりがある」と回答した人の割合は、「18～29歳」「30～39歳」「40～64歳」で3割程度となっています。また、「噛み合わせ、歯並びが悪い」と回答した人の割合は、「12～17歳」が49.4%で最も高く、年齢が上がるにつれて減少傾向となっています。

Q21. 歯科に関する情報の入手先

ご本人は、「歯みがき」や「むし歯」に関することを知りたい時、どこから情報を入手しますか。（複数回答）

	12～17歳 (N=83)	18～29歳 (N=126)	30～39歳 (N=112)	40～64歳 (N=391)	65～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=381)
こども園・保育園・幼稚園・学校・勤務先	22.9	4.0	2.7	1.3	0.3	0.0
市役所・区役所・保健福祉センター	1.2	0.8	3.6	1.0	1.3	2.1
歯科医院	57.8	40.5	48.2	62.9	75.8	73.8
新聞・雑誌	3.6	0.8	2.7	6.6	11.8	16.5
テレビ・ラジオ	8.4	4.8	2.7	9.7	18.9	19.4
インターネット	44.6	69.8	58.9	60.1	27.6	8.9
SNS (Facebook,Instagram,X)	20.5	19.0	18.8	5.4	1.0	0.3
LINE	3.6	0.8	1.8	0.5	1.0	0.0
家族・知人	31.3	19.8	17.0	14.3	14.8	24.1
その他	1.2	1.6	1.8	0.8	1.3	2.4

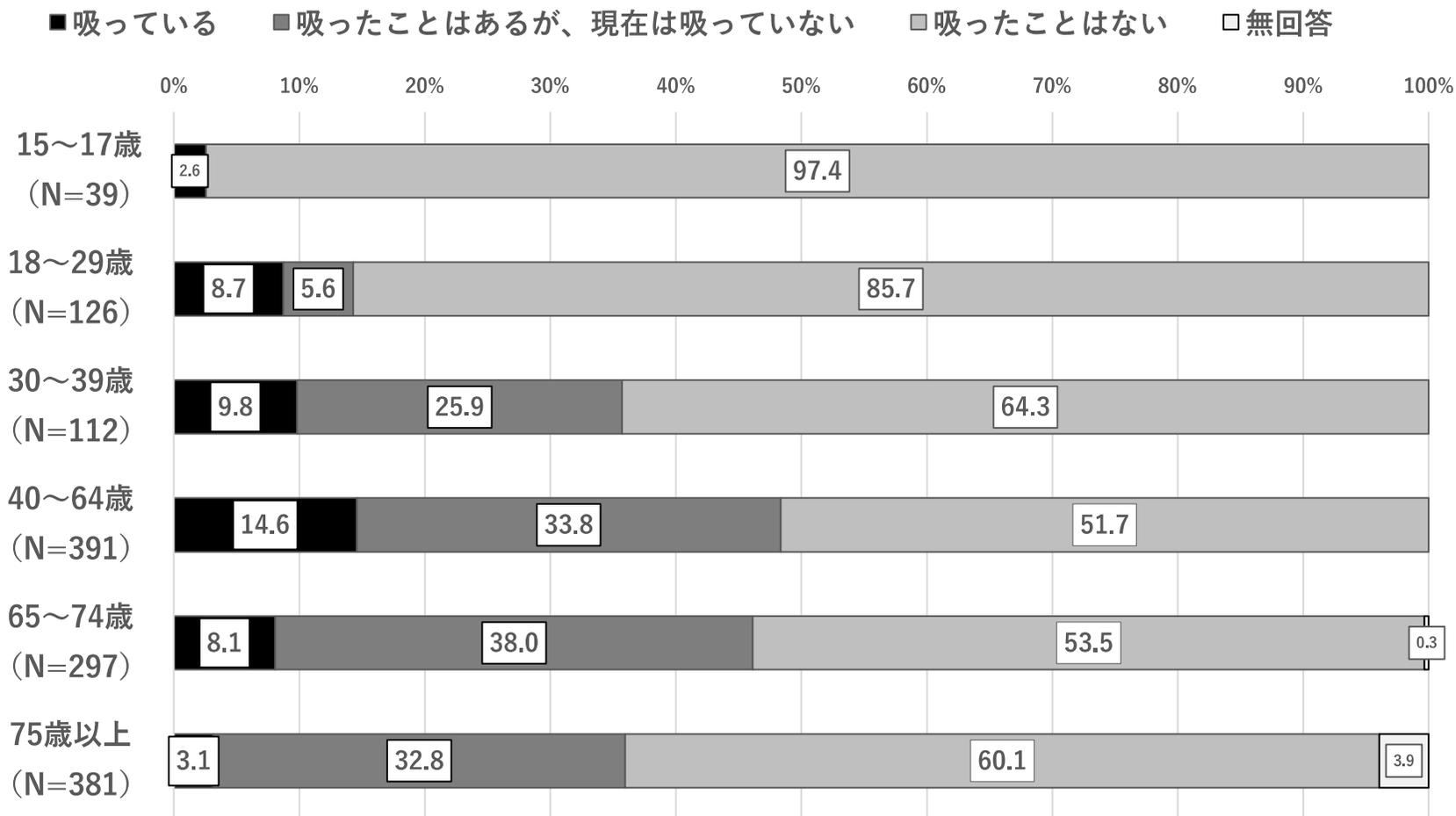
(%)

歯科に関する情報の入手先は、「18～29歳」「30～39歳」では「インターネット」が最も高く、その他の年代では、「歯科医院」が最も高くなっています。

Q22-1.喫煙の状況

【高校生以上】

ご本人は、タバコ（紙巻きタバコのほか、加熱式タバコ、電子タバコを含む）を吸ったことがありますか。（ありましたか。）（単一回答）



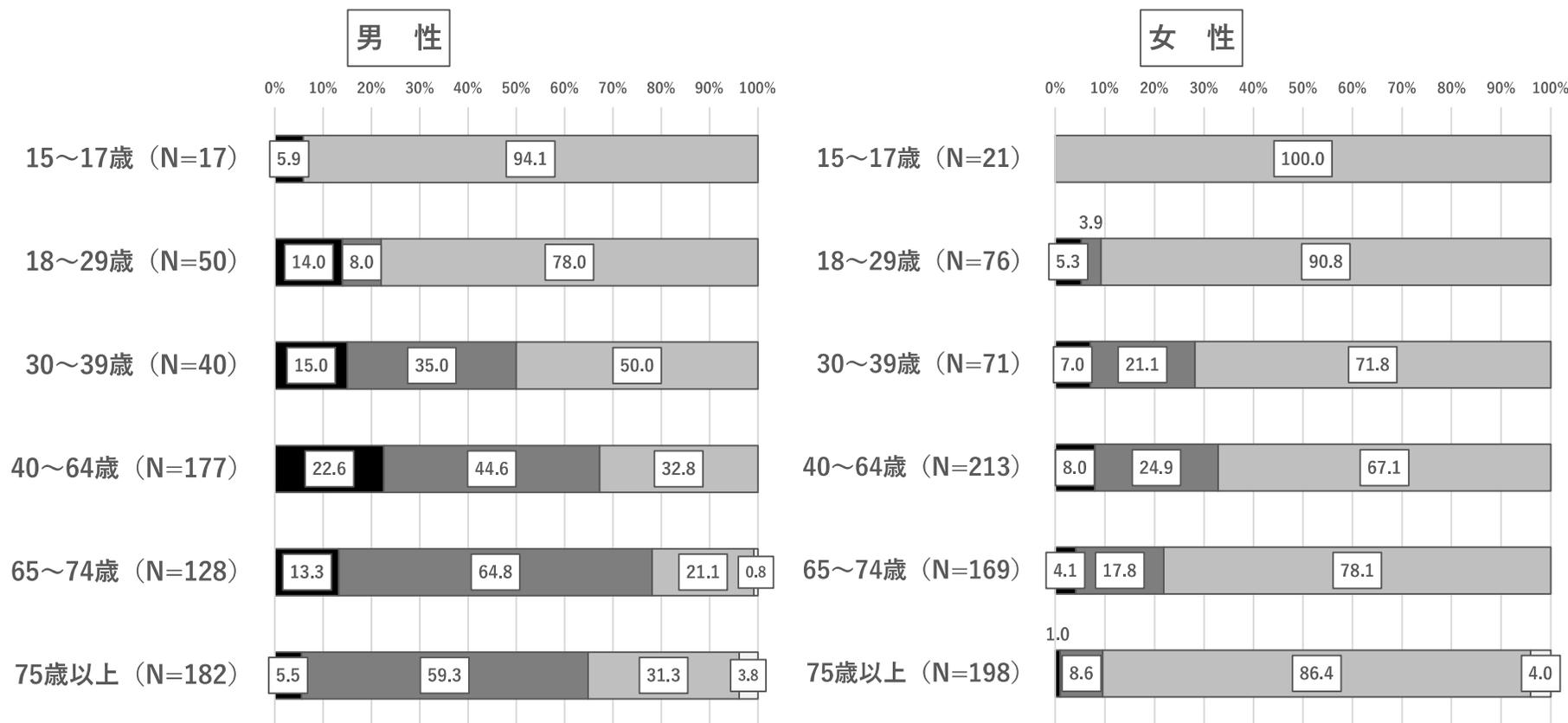
タバコを「吸っている」と回答した人の割合は、“40~64歳”が14.6%で最も高くなっています。

Q22-2.喫煙の状況【男女年代別】

【高校生以上】

ご本人は、タバコ（紙巻きタバコのほか、加熱式タバコ、電子タバコを含む）を吸ったことがありますか。（ありましたか。）（単一回答）

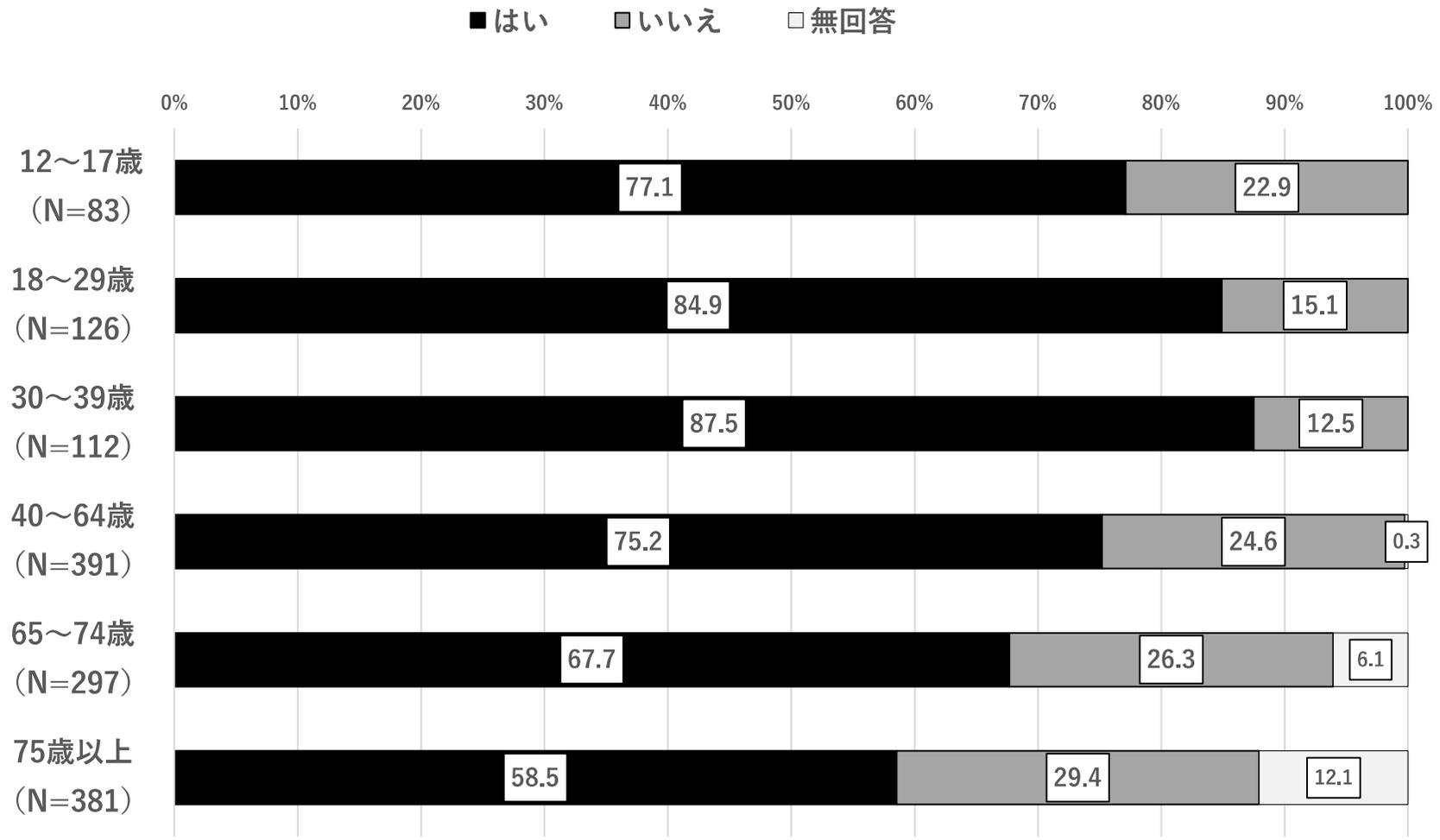
■吸っている ■吸ったことはあるが、現在は吸っていない ■吸ったことはない □無回答



男女年代別では、「吸っている」と回答した人の割合は、男性が高い傾向にあります。

Q23.喫煙の歯周病への影響

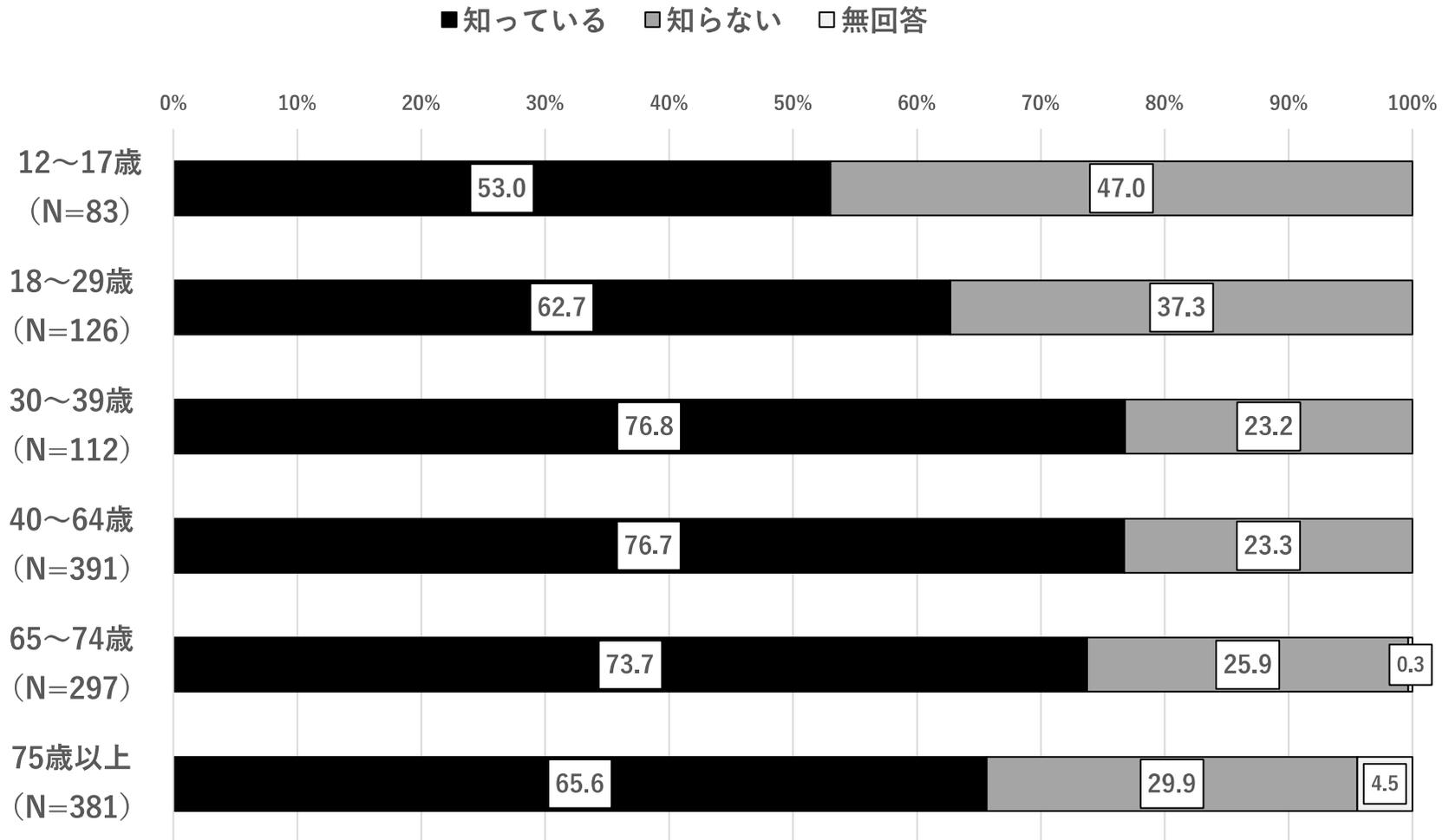
ご本人は、タバコを吸うことやタバコの煙を吸うことが、歯周病に影響があると思いますか。（単一回答）



喫煙による歯周病の影響は、あると思いますかに「はい」と回答した人の割合は、“30～39歳”が87.5%で最も高く、40歳以上は年齢が上がるほど、低くなっています。

Q24.歯周病と全身の病気との関係

ご本人は、「歯周病」がいろいろな病気（腎臓病、糖尿病、脳梗塞、心筋梗塞、狭心症、低体重児出産など）の症状を悪化させる場合があることを知っていますか。
（単一回答）

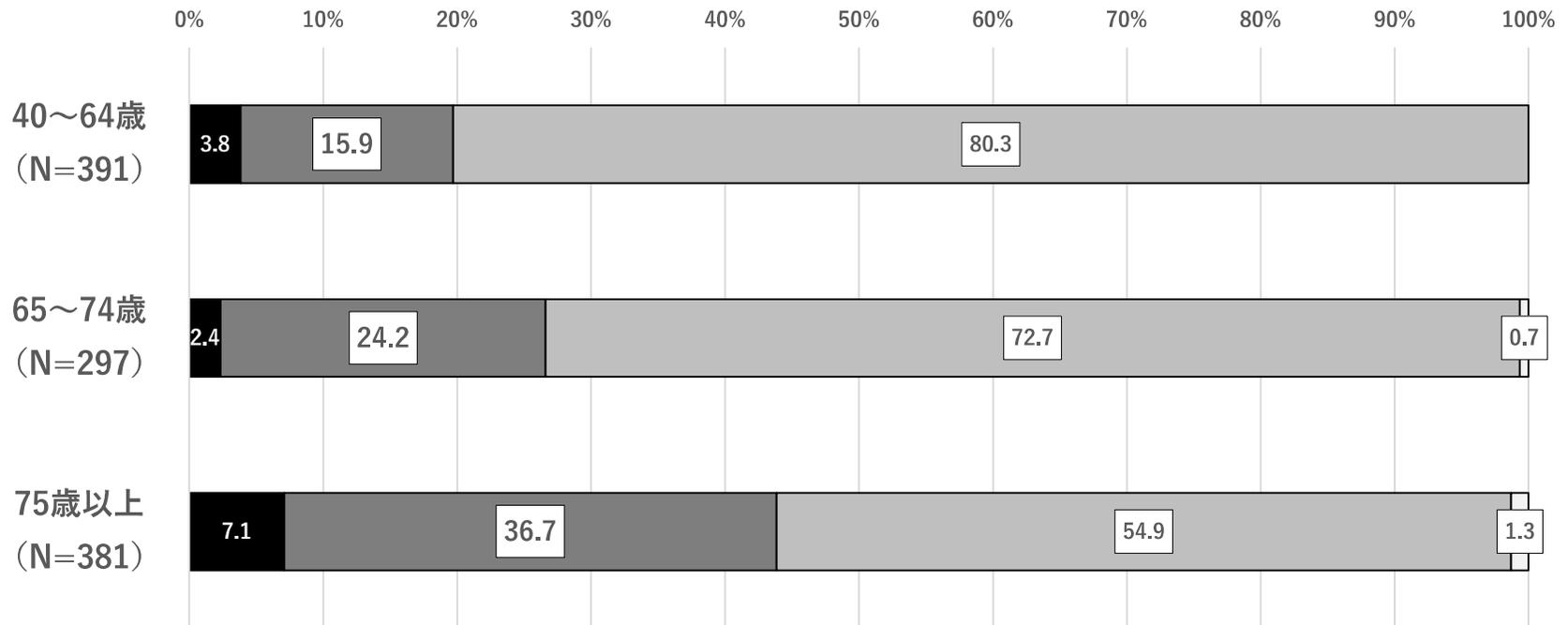


歯周病と様々な病気との関係性を「知っている」と回答した人の割合は、“30～39歳”が76.8%で最も高くなっています。

Q25.静岡市歯周病検診の認知度

【40歳以上】ご本人は、静岡市が40歳以上の市民を対象に低額で実施している「歯周病検診」を知っていますか。（単一回答）

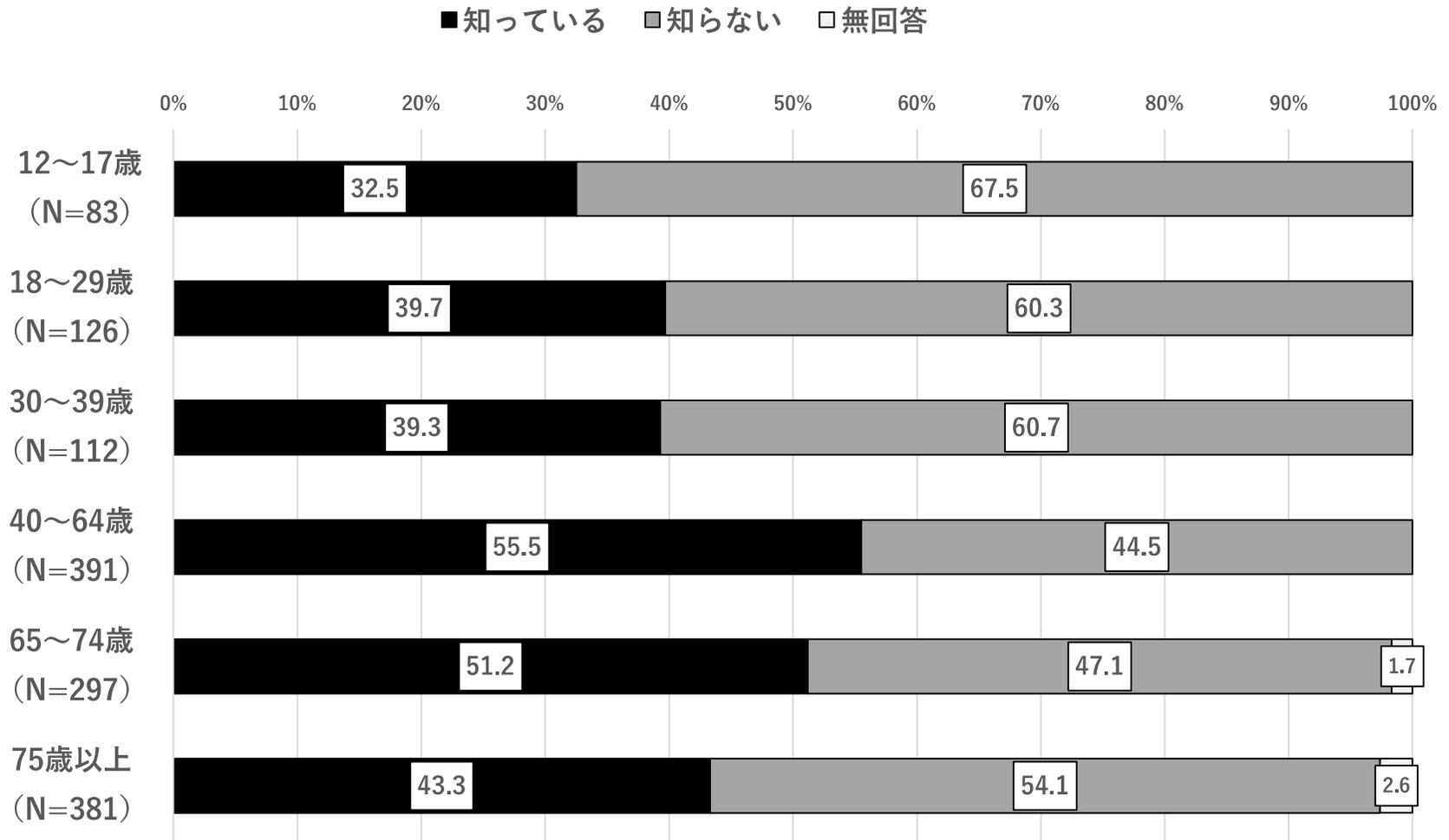
- 市の検診を知っており、受診したことがある
- 市の検診は知っているが、受診したことはない
- 市の検診は知らない
- 無回答



市の歯周病検診は、「知らない」と回答した人の割合は、“40～64歳”が80.3%と最も高くなっています。
また、「市の歯周病検診は知っているが、受診したことはない」は、“75歳以上”が36.7%で最も高くなっています。

Q26.8020運動の認知度

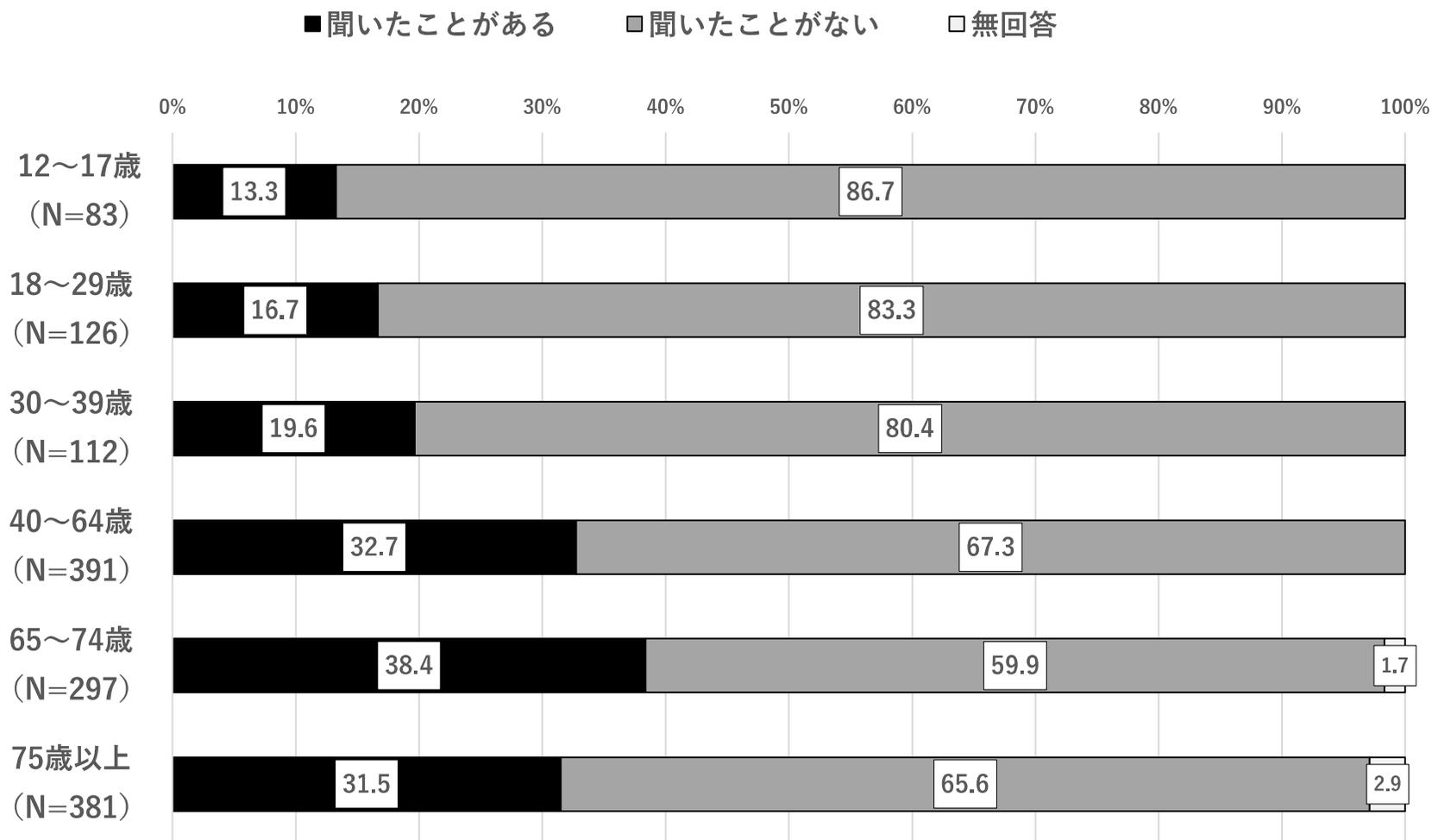
ご本人は、歯と口に関する「8020（はちまるにいまる）運動」という取り組みを知っていますか。（単一回答）



8020運動を「知っている」と回答した人の割合は、“40～64歳”が55.5%で最も高くなっています。

Q27.オーラルフレイルの認知度

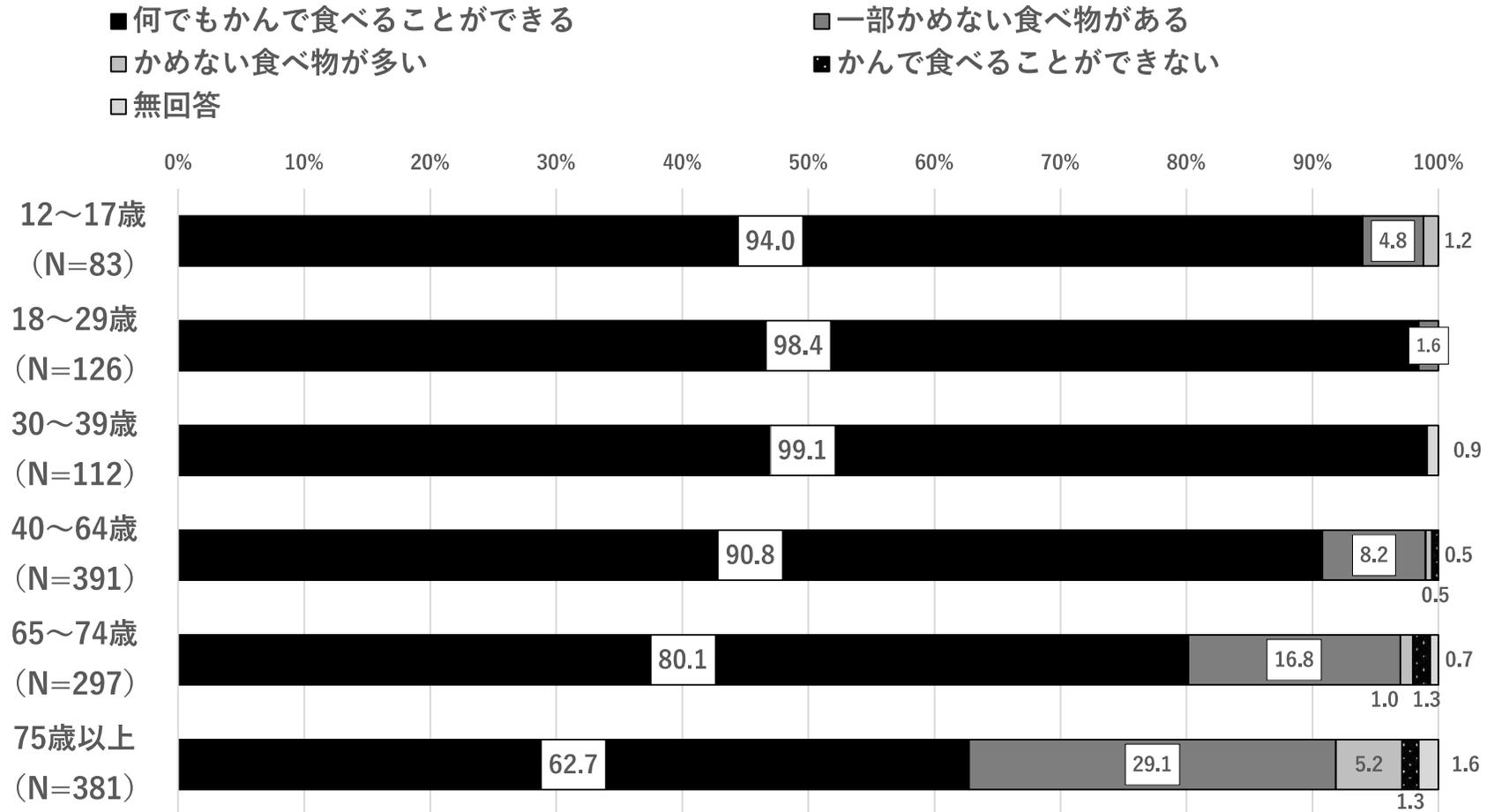
ご本人は、「オーラルフレイル」という言葉を聞いたことがありますか。（単一回答）



オーラルフレイルという言葉で「聞いたことがある」と回答した人の割合は、40歳以上では3割を超えています。

Q28-1.かんで食べる時の状況

ご本人は、何でもかんで食べることができますか。（単一回答）

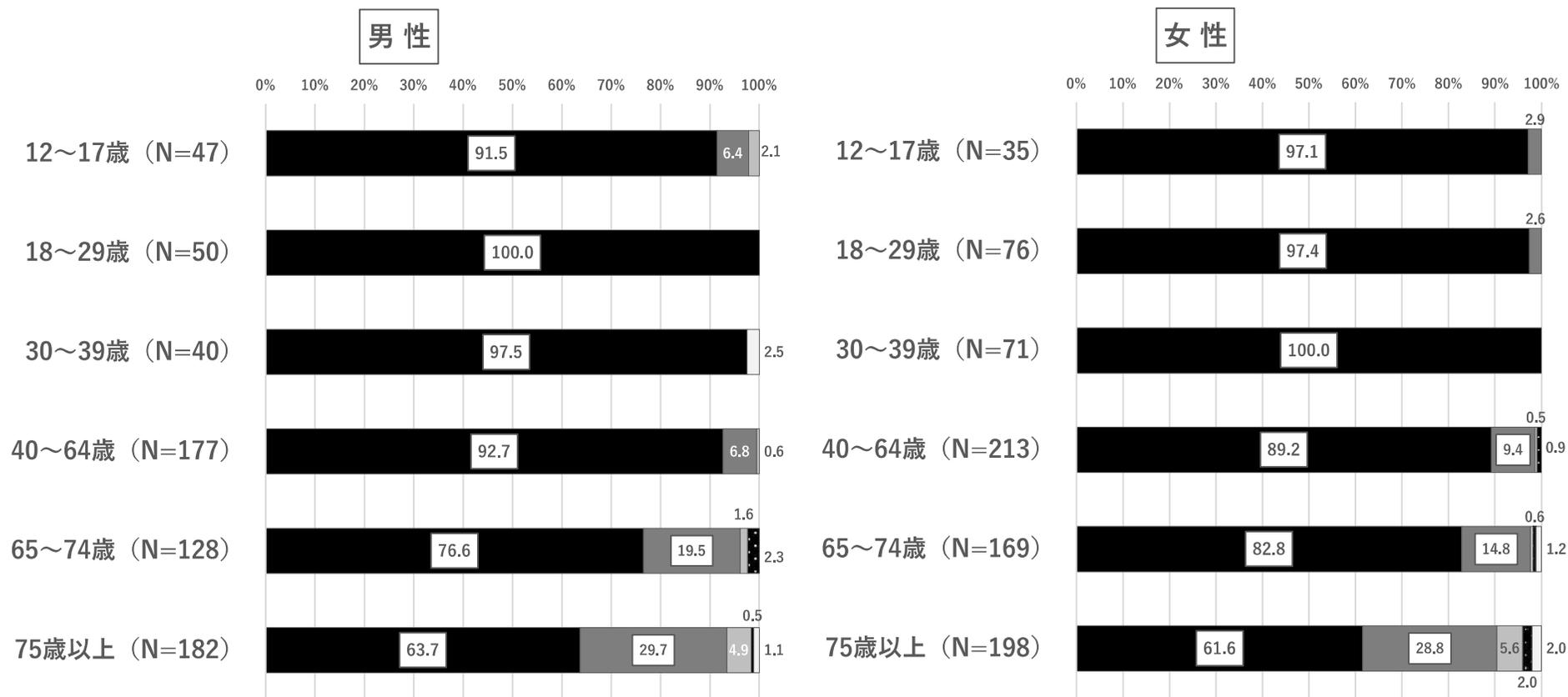


「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合は、64歳以下は9割を超えていますが、65歳以上は年齢が上がるほど低くなっています。

Q28-2.かんで食べる時の状況【男女年代別】

ご本人は、何でもかんで食べることができますか。（単一回答）

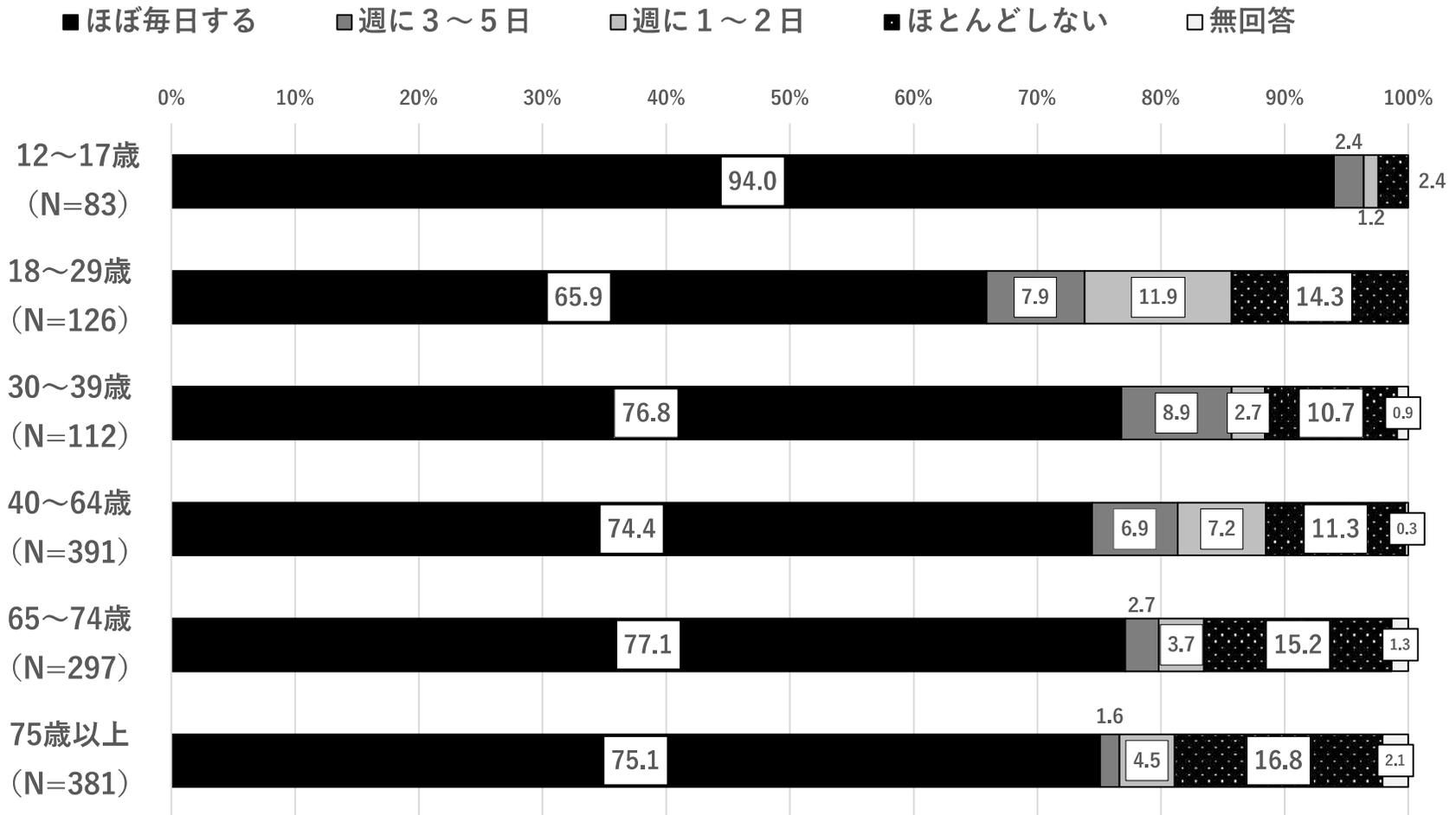
- 何でもかんで食べることができる
- かんで食べることができない
- 一部かめない食べ物がある
- 無回答
- かめない食べ物が多い



男女年代別では、「何でもかんで食べることができる」と回答した人の割合は、男性では30歳以上、女性では、40歳以上で年齢が上がるほど低くなっています。

Q29-1.家族や友人との食事

ご本人は、1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をしますか。（単一回答）

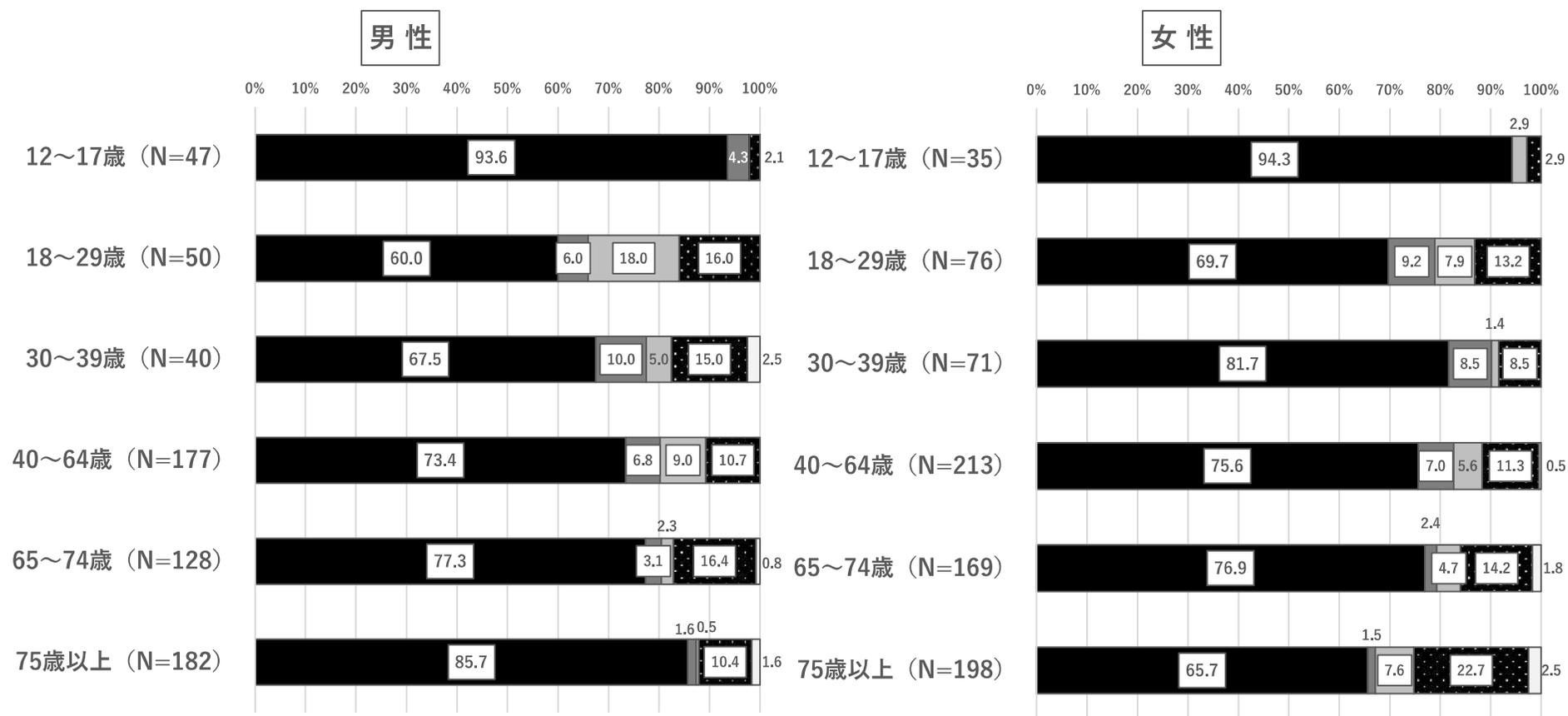


1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をする人の割合は、「ほぼ毎日する」が“12~17歳”が94.0%で最も高く、他の年代では、7割程度となっています。また、18歳以上は、「ほとんどしない」が1割程度みられます。

Q29-2.家族や友人との食事【男女年代別】

ご本人は、1日1食以上、家族や友人と一緒に食事をしますか。（単一回答）

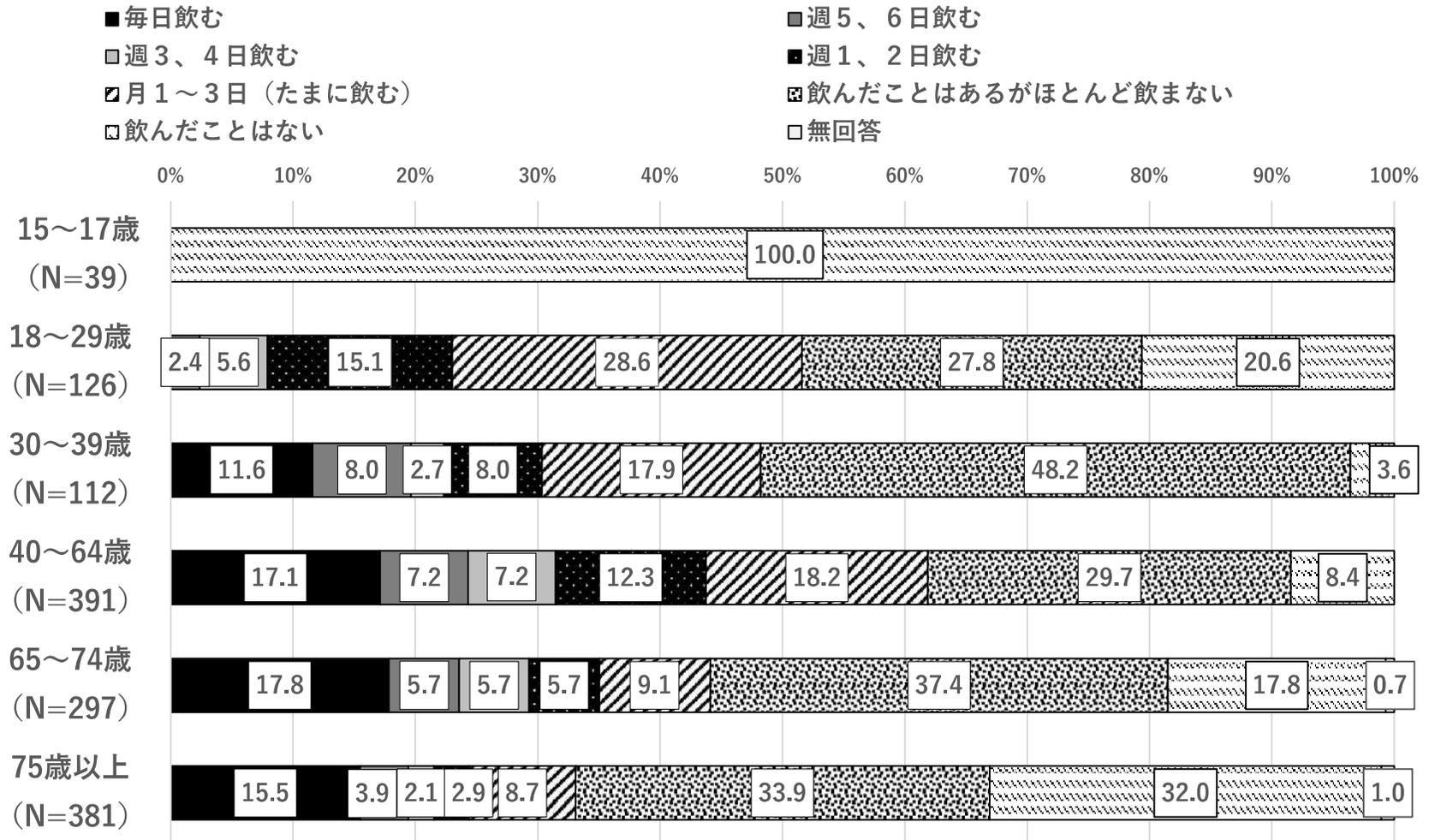
■ ほぼ毎日する □ 週に3～5日 □ 週に1～2日 ■ ほとんどしない □ 無回答



男女年代別では、「ほぼ毎日する」と回答した人の割合は、男性に比べて女性が高い傾向にありますが、65歳以上では、男性が高くなっています。

Q30-1.飲酒の状況

【高校生以上】ご本人は、お酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。（単一回答）

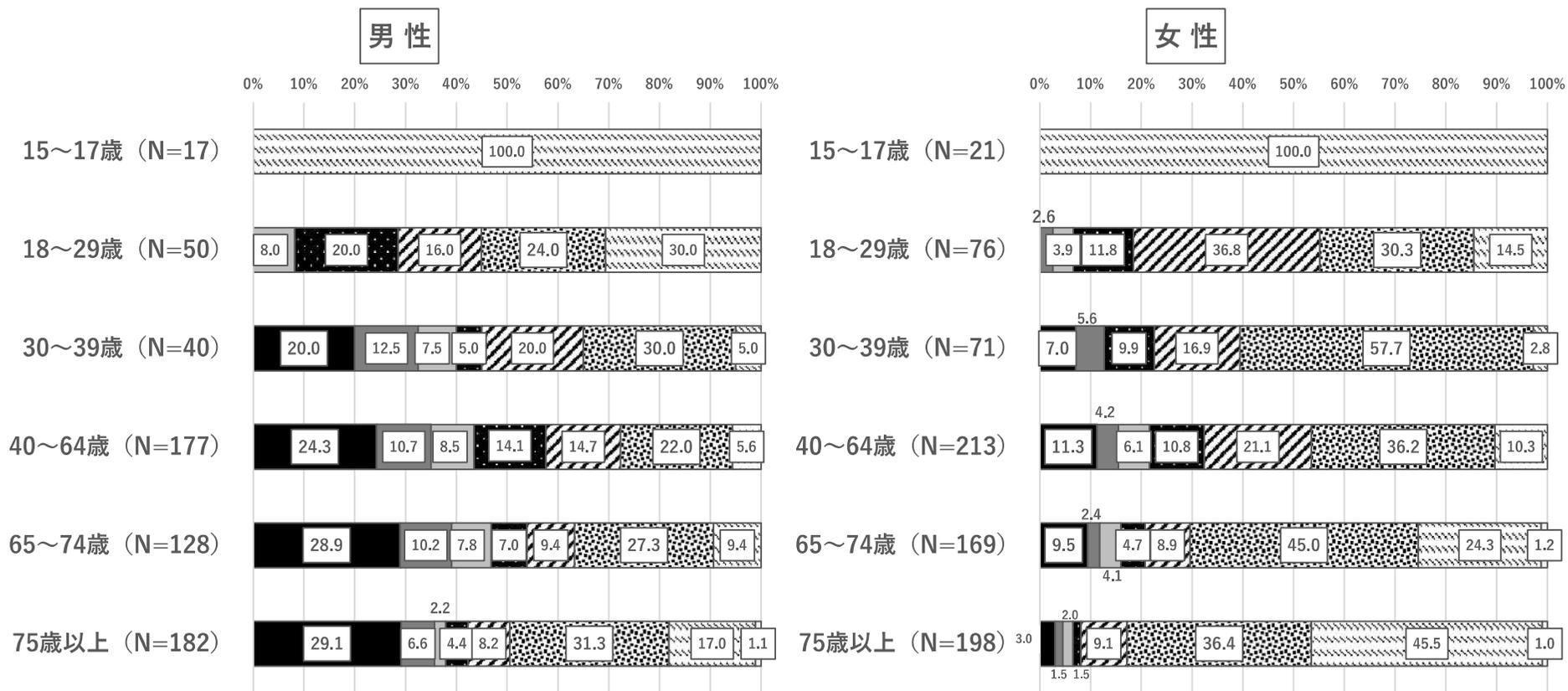


お酒、ビールなどを「週3回以上飲む（毎日飲む＋週5,6日飲む＋週3,4日飲む）」と回答した人の割合は“40～64歳”が31.5%で最も高くなっています。

Q30-2.飲酒の状況【男女年代別】

【高校生以上】ご本人は、お酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。（単一回答）

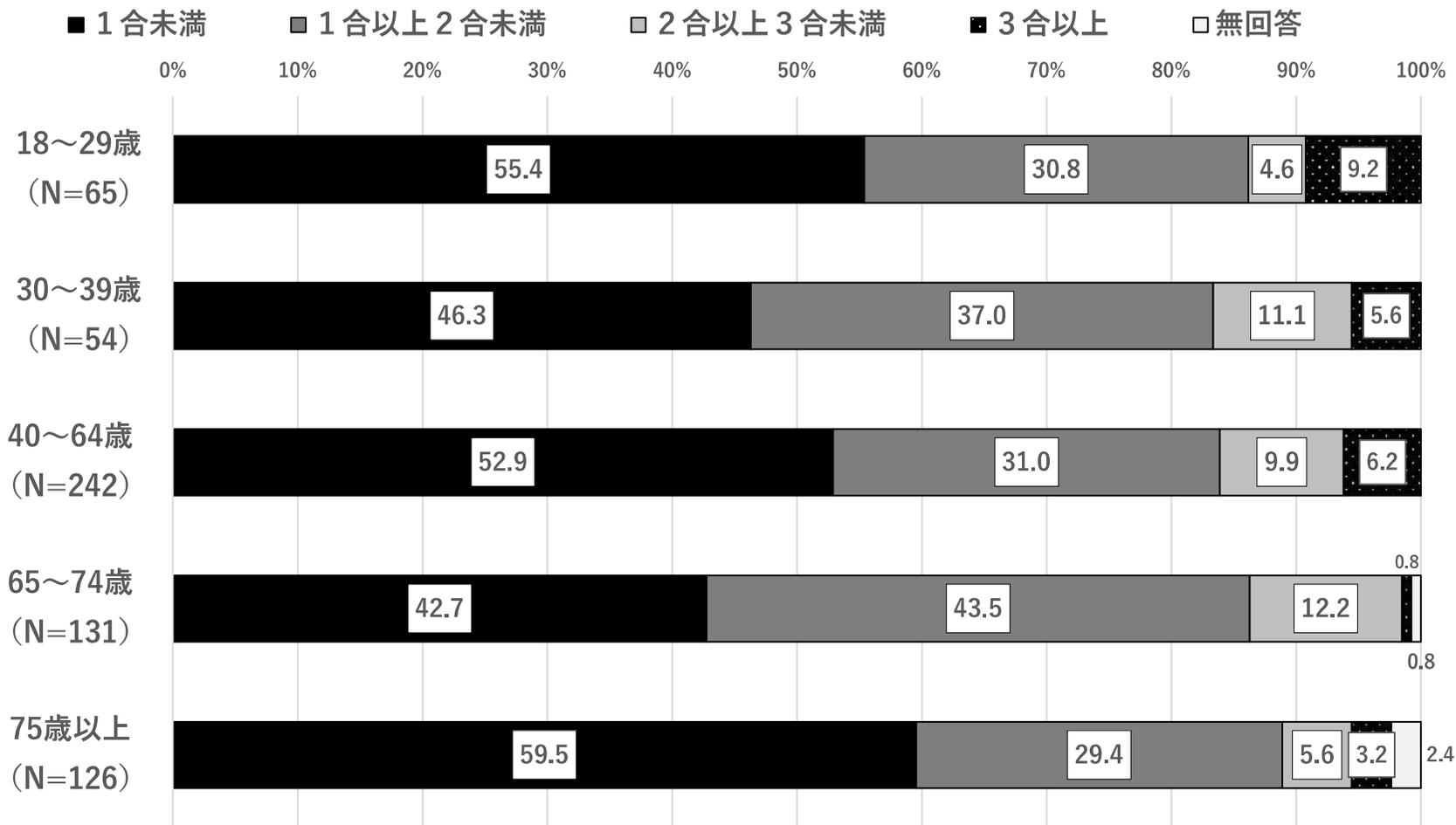
- 毎日飲む
- ▣ 週3、4日飲む
- ▨ 月1～3日（たまに飲む）
- ▩ 飲んだことはない
- 週5、6日飲む
- 週1、2日飲む
- ▩ 飲んだことはあるがほとんど飲まない
- 無回答



男女年代別では、「週3回以上飲む」と回答した人の割合は、男性が高い傾向にあります。

Q31.飲酒量

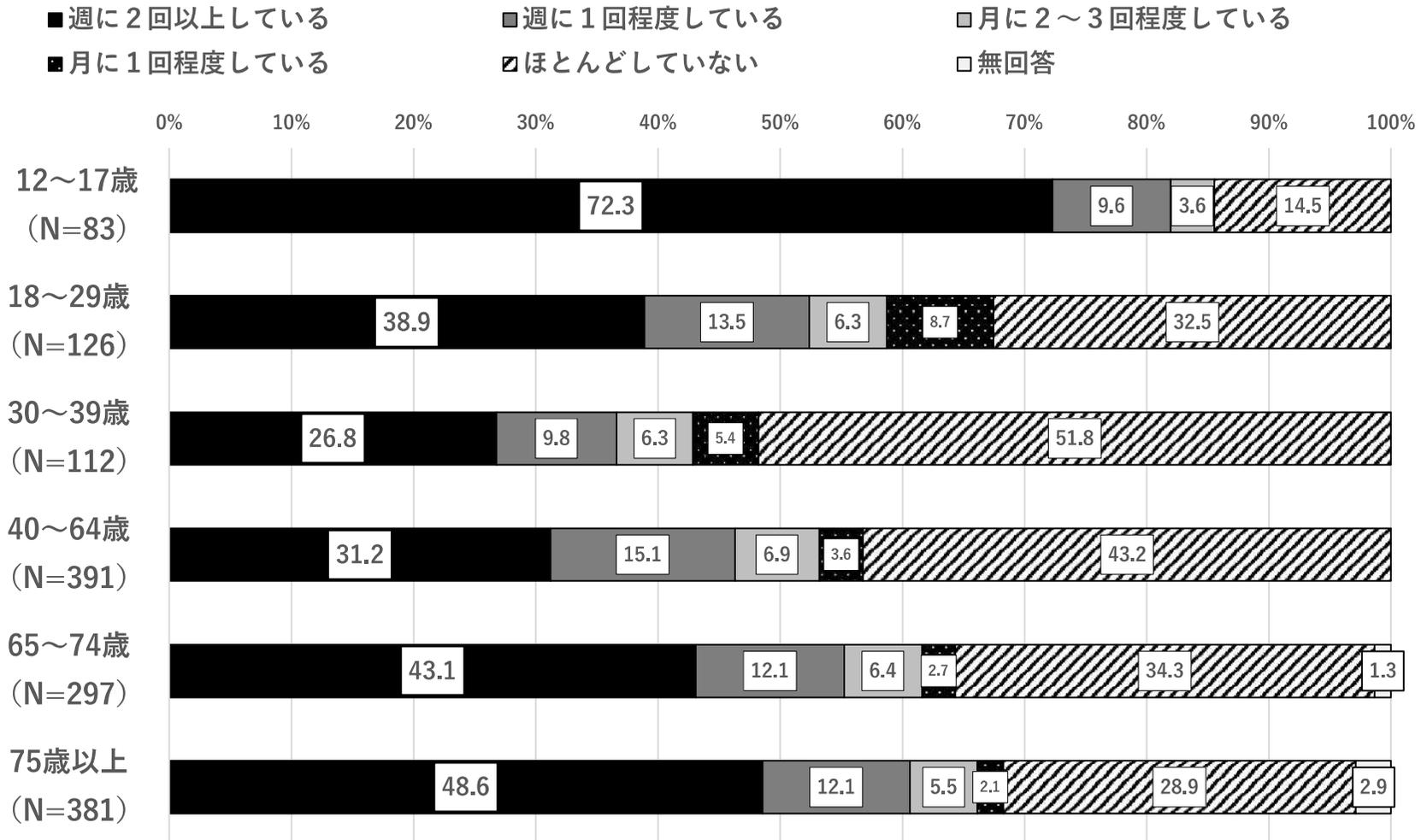
【前問で「飲む」を選んだ方】 1日に飲むアルコールの分量は、日本酒に換算すると平均どの程度ですか。（単一回答）
 ※日本酒1合=ビール中びん1本、焼酎0.5合、ウィスキーダブル1杯、ワイングラス2杯として換算



飲酒量は、「1合未満」+「1合以上2合未満」と回答した人の割合が、8割を超えています。

Q32.1日30分以上の運動の状況

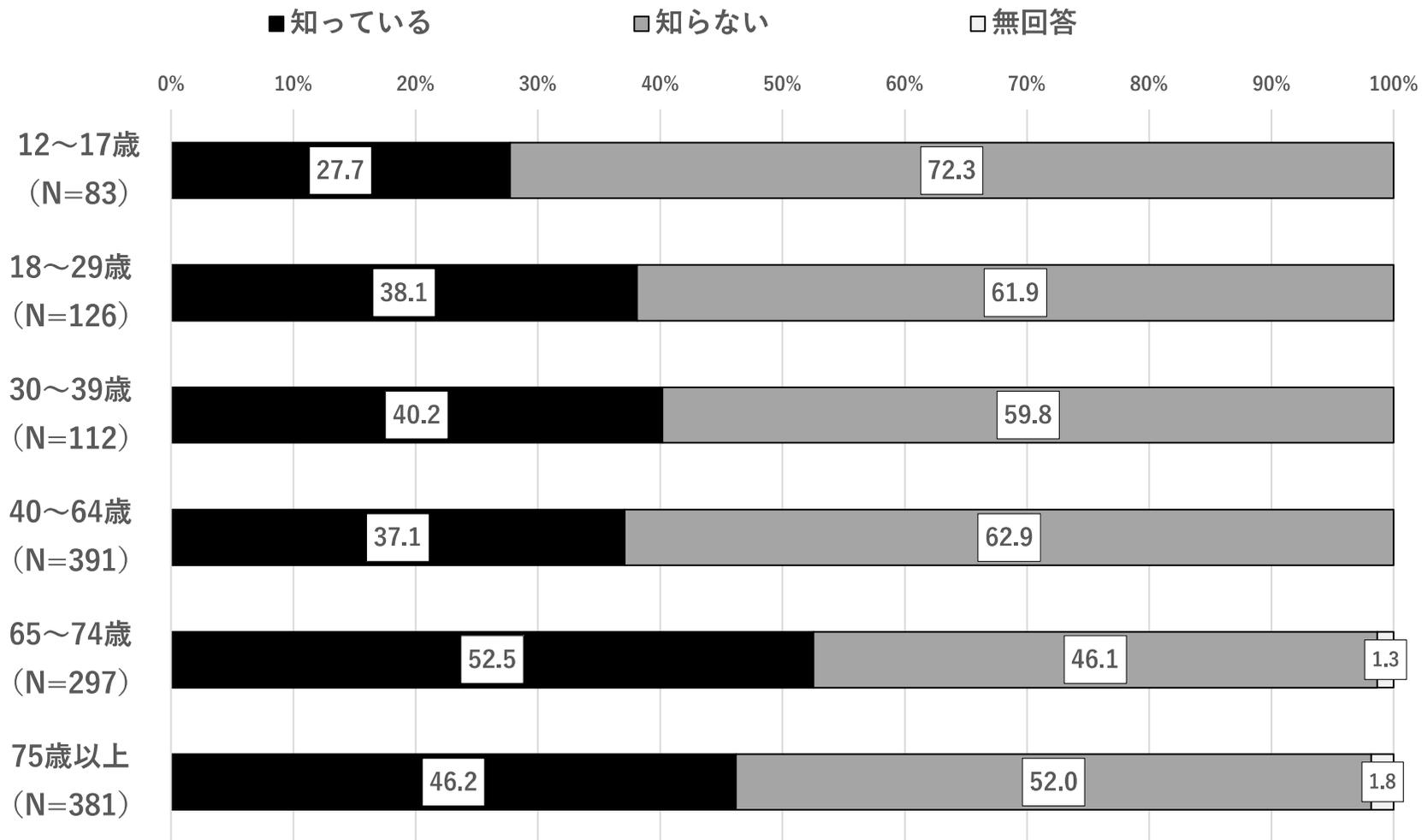
ご本人は、1日に30分以上の運動をしていますか。（単一回答）



1日30分以上の運動を「週2回以上している」と回答した人の割合は、「12~17歳」が72.3%で最も高く、「30~39歳」が26.8%で最も低くなっています。

Q33.むせ予防等のお口の体操の認知度

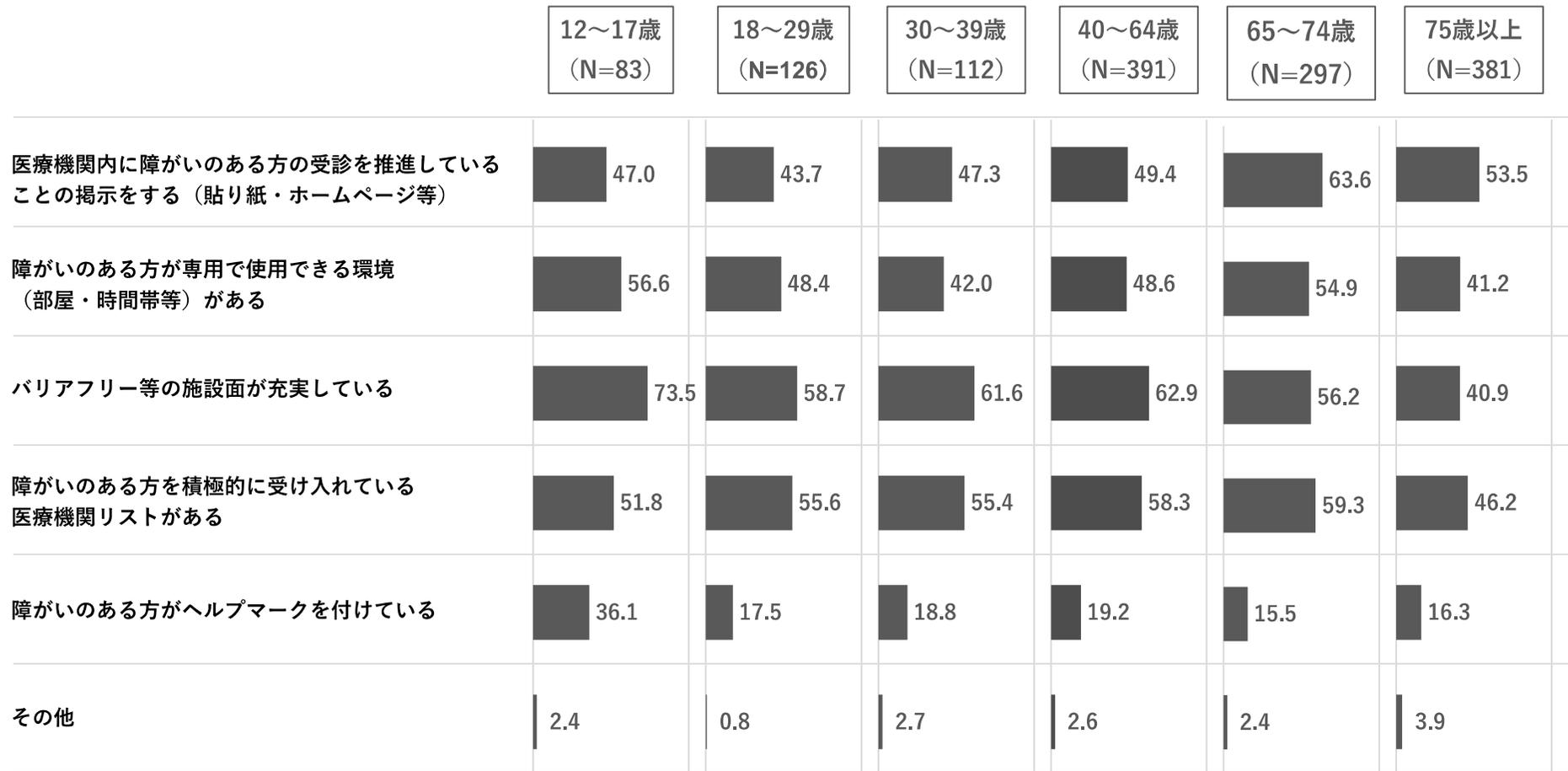
ご本人は、むせの予防や唾液の分泌を促進させるために、唇、頬、舌などを動かす体操があることを知っていますか。（単一回答）



お口の体操の認知度は、“65～74歳”が52.5%で最も高くなっています。

Q34.障がいのある方の歯科医療機関の受診の推進

障がいのある方の歯科医療機関の受診を推進するためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

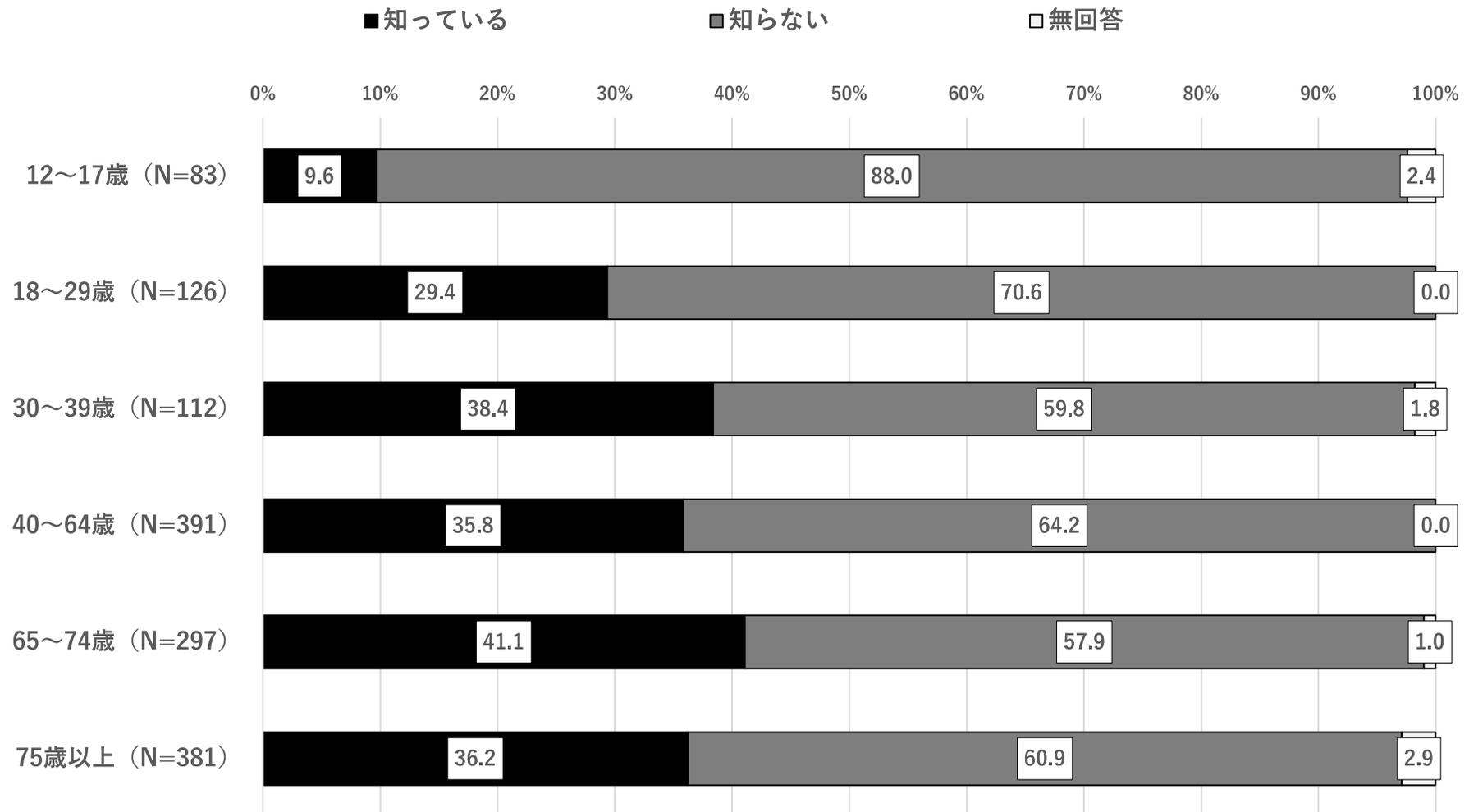


(%)

障がいのある方の歯科医療機関受診の推進では、64歳以下は「バリアフリー等の施設面が充実している」が最も高く、65歳以上は「医療機関内に障がいのある方の受診を推進していることの掲示をする」が最も高くなっています。

Q35.訪問歯科診療の認知度

ご本人は、寝たきりなどで歯科医院への通院が困難な場合に、歯科医師や歯科衛生士が訪問して、歯の治療や口腔ケアを受けられることを知っていますか。
(単一回答)



訪問歯科診療を「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が41.1%で最も高くなっています。

Q36.がんについて知っていること

がんについてご本人が知っていることは何ですか。（複数回答）

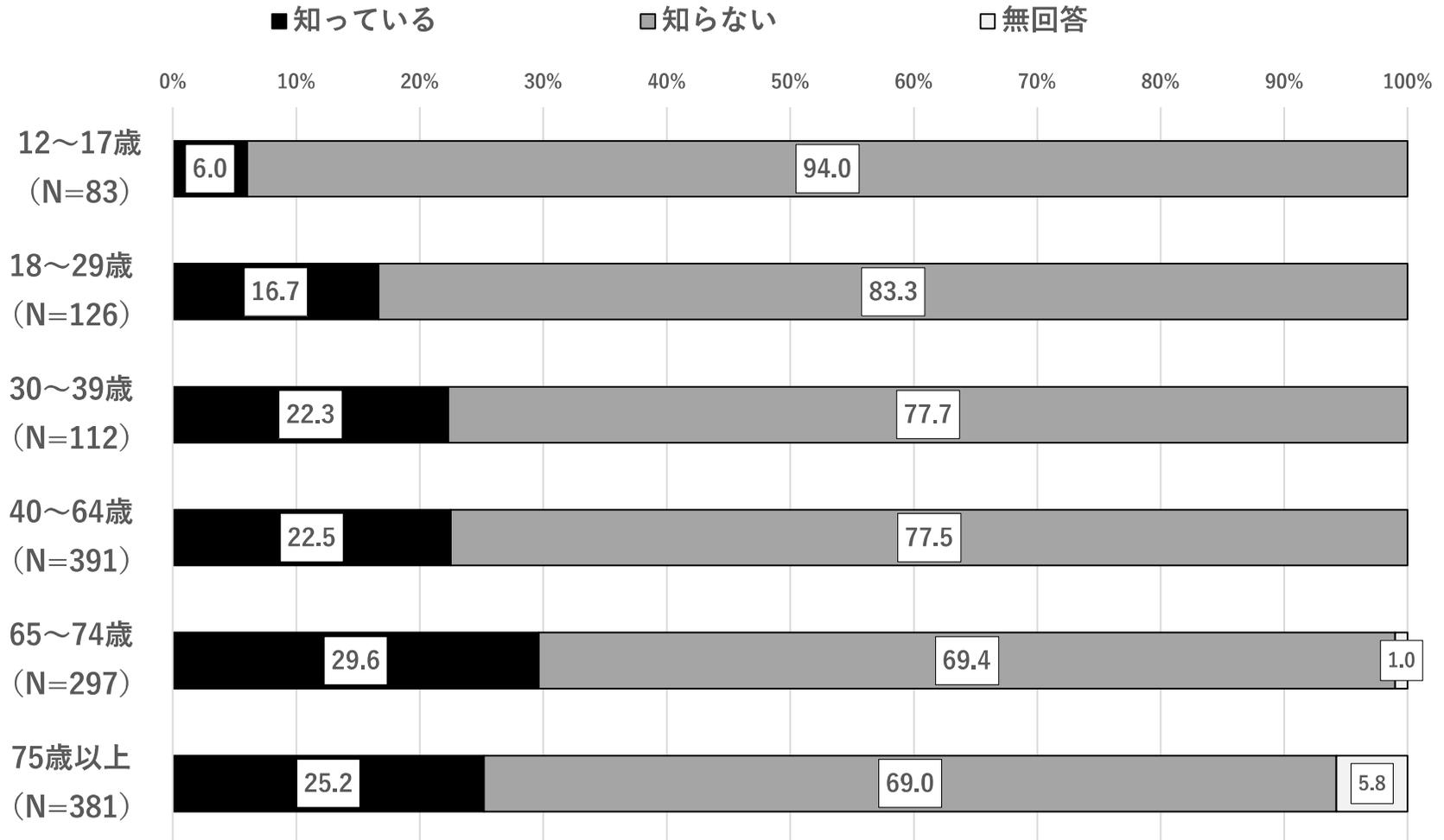
	12～17歳 (N=83)	18～29歳 (N=126)	30～39歳 (N=112)	40～64歳 (N=391)	65～74歳 (N=297)	75歳以上 (N=381)
日本人の2人に1人が、一生のうちに何らかのがんにかかる と推計されている	61.4	42.9	54.5	55.5	59.3	54.1
たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である	84.3	78.6	79.5	81.8	74.4	75.1
5つの健康習慣（禁煙、節酒、食事、運動、適正体重）で、 がんになるリスクが低くなる	80.7	71.4	72.3	67.3	60.3	60.1
早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も 生存できる	50.6	42.9	51.8	65.7	76.1	67.5
特定のウイルスや菌の感染が、がんの原因になる場合がある (例 ヒトパピローマウイルス (HPV) による子宮頸がん、ヘリコバクター・ ピロリ (H.pylori) による胃がんなど)	30.1	37.3	42.0	53.2	52.5	35.7
子宮頸がんのように若い世代で増えているがんがある	53.0	60.3	60.7	59.1	58.2	43.3
がん治療の中心は、入院治療から外来通院治療と 在宅療養へ移行してきている	13.3	16.7	27.7	39.1	41.8	30.4
自分らしく充実した生き方ができるよう、治療法を選択する ことができる	43.4	42.9	45.5	50.9	51.2	40.4
がんと診断された後、多くの方が就業を継続している	10.8	23.0	34.8	46.5	47.8	40.4
がんの新しい治療法に関する情報の中には、十分な科学的根拠 がなく、注意を要するものがある	25.3	30.2	31.3	32.5	30.6	26.2
知っているものはない	4.8	7.9	2.7	1.8	1.7	3.7

がんについて知っていることは、「たばこは様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」と回答した人の割合が、すべての年代において7割を超えています。

(%)

Q37.口腔ケアによる入院日数短縮の認知度

ご本人は、全身麻酔を伴う手術の前後や、がんによる化学療法や放射線治療を受ける前に歯科治療や口腔ケアを受けることで、肺炎などの合併症を予防し、入院日数が短くなることを知っていますか。（単一回答）



全身麻酔を伴う手術の前後の口腔ケアの効果を「知っている」と回答した人の割合は、“65～74歳”が29.6%で最も高くなっています。

Q38. 歯みがきの方法

【1～12歳（小学生以下）】

ご本人の歯みがきは、どのようにしていますか。（単一回答）

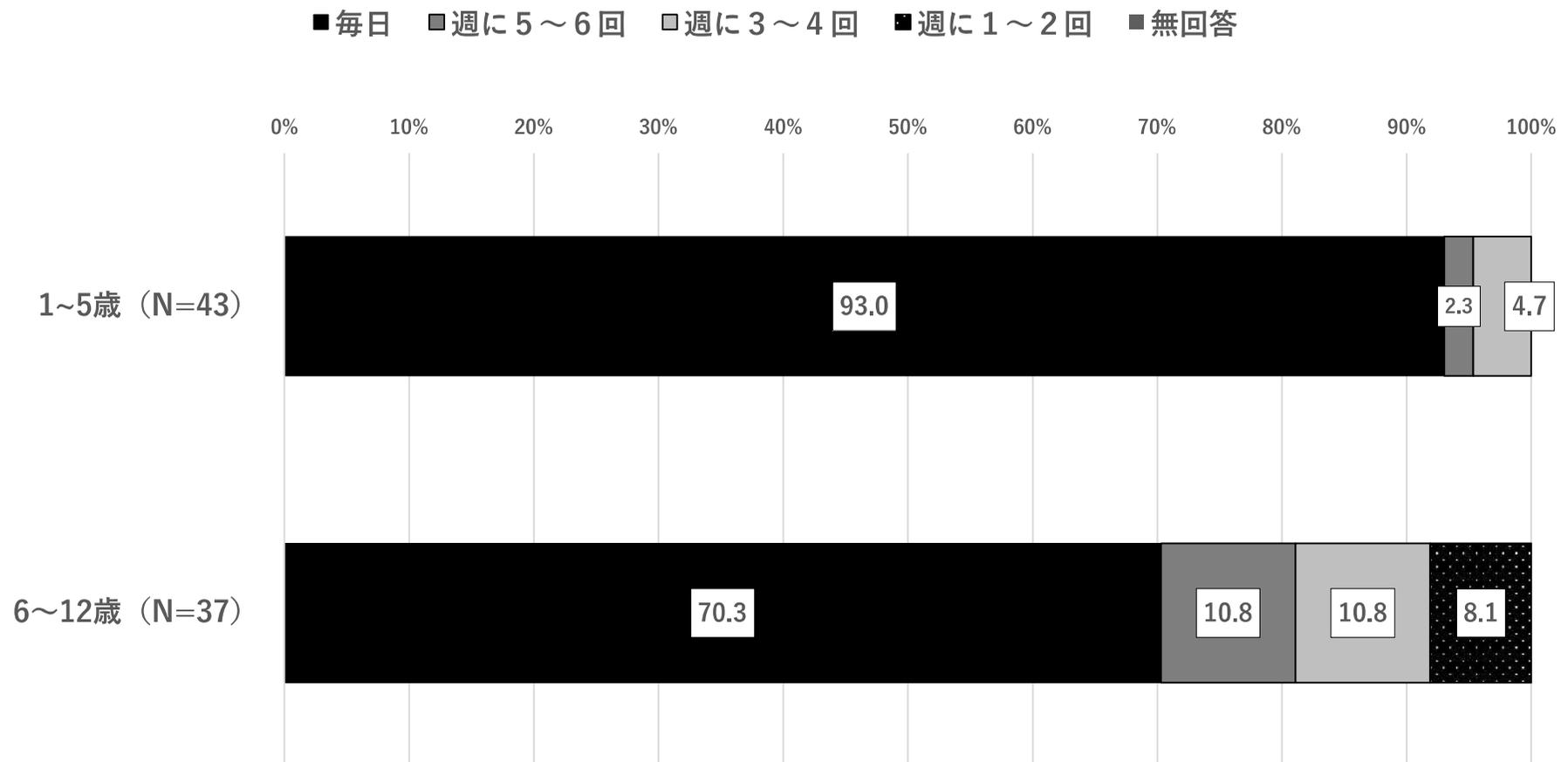
- 自分ひとりでみがく
- 自分でみがかず、保護者がみがく
- 無回答
- 自分でみがいた後に、保護者がみがく
- ほとんどみがかない



12歳以下で「自分でみがいた後に保護者がみがく」は、「1～5歳」が77.8%、「6～12歳」は49.3%となっています。

Q39.保護者による仕上げみがきの頻度

【前問で「自分でみがいた後に、保護者がみがく」と「自分でみがかず、保護者がみがく」を選んだ方】
 保護者がみがくのは、週に何回くらいですか。（単一回答）



保護者による仕上げみがきを「毎日」行うと回答した人の割合は、「1~5歳」が93.0%、「6~12歳」で70.3%となっています。

Q40.園や学校で実施する歯科健診

【こども園・保育園・幼稚園等に通園、小学生、中学生、高校生】

園や学校で実施する歯科健診を受けて、ご本人が治療を勧められた場合、次のどれに当てはまりますか。（単一回答）

■ 勧められたらすぐに行く ■ 痛みを感じたら行く ■ 行かない □ 無回答

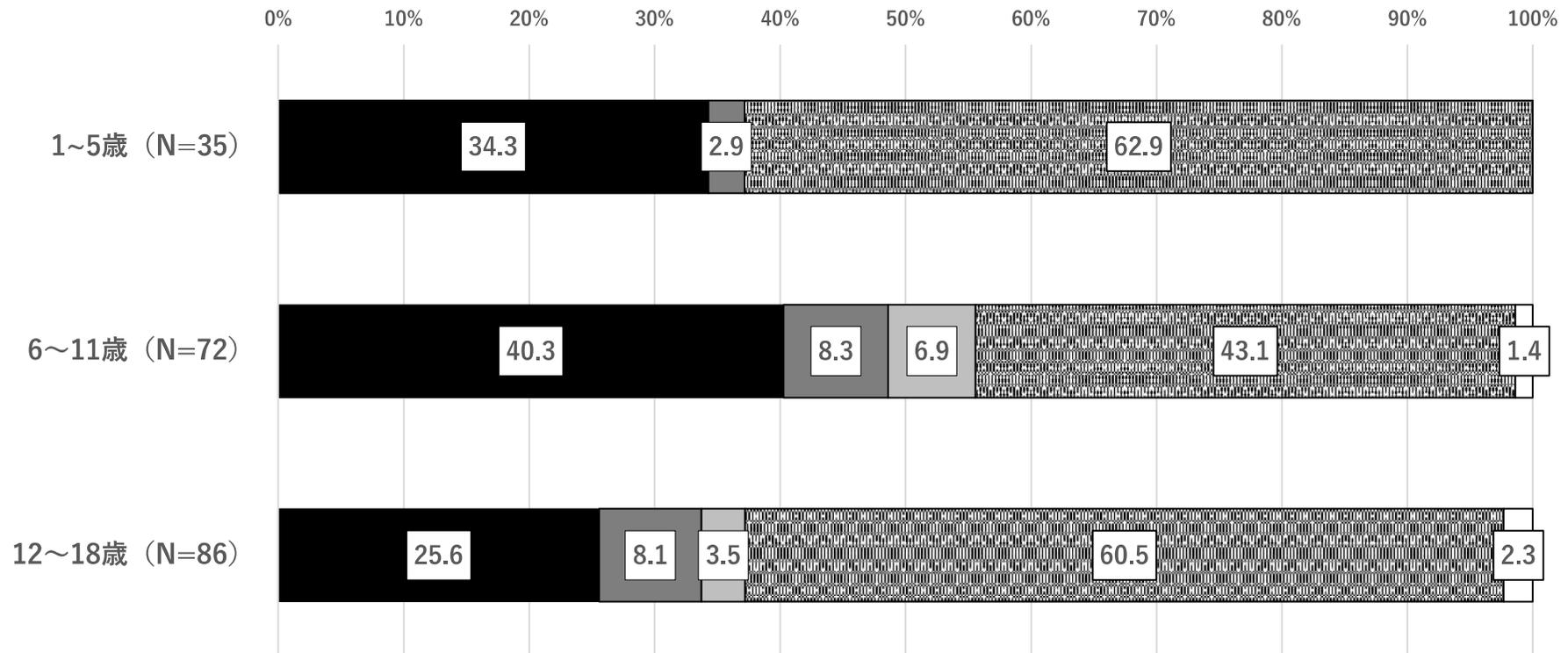


園や学校での歯科健診にて治療を勧められた場合、「勧められたらすぐに行く」が“1~5歳”“6~11歳”では97%を超えていますが、“12~18歳”では82.6%に留まっています。

Q41.園や学校での歯みがき

【こども園・保育園・幼稚園等に通園、小学生、中学生、高校生】
 ご本人は、園や学校で昼食後、歯みがきをしていますか。（単一回答）

- 毎日みがいている
- 週に3～4日みがいている
- 週に1～2日みがいている
- 歯みがきはしていない
- 無回答



園や学校での昼食後の歯みがき状況は、「6～11歳」では「みがいている（毎日+週3～4日+週1～2日）」が55.5%でしたが、その他の年代では、「歯みがきはしていない」の割合が高くなっています。